

第三十回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十二號

大正二年三月二十六日(水曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第十二號 大正二年三月二十六日

午前十時開議

請願委員長報告

第二 營業稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

不動產登記法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

非訟事件手續法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會
第一讀會
第一讀會
第一讀會

(委員長)

(委員長)

(委員長)

(委員長)

明治四十三年度歲入歲出總決算、明治四十年度各特別會計歲入歲出決算、自明治四十三年八月三十日至同年九月三十日舊韓國政府豫算變用會計歲入歲出決算

用各特別會計歲入歲出決算報告並決議案

(二件)

第一讀會
第一讀會
第一讀會
第一讀會

(委員長)

(委員長)

(委員長)

(委員長)

水先法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(報告)
貴族院規則第二十八條中改正ノ動議(伯爵萬里小路通房君外六名發議) 會議

第八 無集配郵便局設置ノ請願 第九 義士表彰ニ關スル請願

第十 湿別上頓別間鐵道敷設速成ノ請願 第十一 福島中村間鐵道敷設ノ請願

第十二 大津宮創設ノ請願 第十三 水難救護法中改正ノ請願

第十四 國立釀造試驗所增設ノ請願 第十五 輸出酒類戾稅擔保物件ニ關スル請願

第十六 上越鐵道速成ノ請願 第十七 上越線鐵道敷設ノ請願

第十八 營業稅法中改正ノ請願

第十九 酒造原料水保護ニ關スル請願

第二十 庄內川改修ニ關スル請願

第二十一 特定運賃制定ノ請願

第二十二 池田川口間鐵道速成ノ請願

第二十三 滿鮮輸出花庭ノ検査所ニ關スル請願

第二十四 本坂峠開鑿ノ請願

二十五 營業稅法案ニ對スル修正ノ請願

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔東久世書記官朗讀〕

昨二十五日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

愛知縣下郡廢置法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

水道條例中改正法律案特別委員會
委員長 伯爵柳原 義光君 副委員長 子爵水野 直君
所得稅法中改正法律案外一件特別委員會
委員長 子爵會我 祐準君 副委員長 伯爵德川 達孝君

明治四十四年度豫備金支出ノ件外三件特別委員會
委員長 男爵村上 敬次郎君 副委員長 小牧 昌業君

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

營業稅法中改正法律案
會計檢查院法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ

受領セリ

會計檢查官及行政裁判所高等官ノ休職ニ關スル法律案

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

營業稅法中改正法律案

〔小字八衆議院ノ修正ノ同削除ノ符號〕

旅人宿業		料理店業		席業		請業		鐵道業		倉庫業	
從報業者額	從償業者額	從建物業者額	從貨物業者額	從建物業者額	從貨物業者額	從請業者額	從業者ノ内職工勞役者額	收從業者ノ内職工勞役者額	收從業者ノ内職工勞役者額	收從業者ノ内職工勞役者額	收從業者ノ内職工勞役者額
一千分ノ三十五	一千分ノ三十五	千分ノ八十五	千分ノ一	千分ノ百二十	千分ノ一百二十	千分ノ一百二十	一人每ニ金二圓	千分ノ四十	千分ノ四十	千分ノ四十	千分ノ四十
一人每ニ金二圓	一人每ニ金五十錢	一人每ニ金二十錢	一人每ニ金二十錢	一人每ニ金二十錢	一人每ニ金二十錢						

物品販賣業中米、麥、豆、石油、肥料、鹽、煙草。○販賣スル者ノ賣上金額ニハ卸賣、小賣共ニ甲ノ税率ヲ適用シ繭、生絲、白綿布、棉花、綿、白綿絲、白綿布、紙、○砂糖、麥粉ヲ販賣スル者ノ賣上金額ニハ卸賣ニ在リテハ甲、小賣ニ在リテハ乙ノ税率ヲ適用シ其ノ他ノ物品ヲ販賣スル者ノ賣上金額ニハ卸賣、小賣共ニ乙ノ税率ヲ適用ス

營業者ヲ除クノ外從業者中十五歳未満ノ者ニ付テハ第一項税率ノ二分ノ
一トス

第十五條中「物品販賣業」ノ下ニ「證券賣買業、倉庫業」ヲ加ヘ同條第二項
但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ内國ト外國トニ涉リ店舗其ノ他ノ營業場數箇所アルモノニシテ資本ヲ區分セサルモノハ内國ニ於ケル課稅標準ヲ見積リ主タル店舗其ノ他ノ營業場内國ニ在ルトキハ合算シテ之ヲ課シ内國ニ在ラサルトキハ各別ニ之ヲ課ス

第十六條 課稅標準ト爲スヘキ賣上金額、收入金額、請負金額及報償金額ハ前年中ノ總額ニ依リ之ヲ計算ス但シ前年中ニ開業シタル者ハ豫算ニ依

第十六條ノ二 課稅標準ト爲スヘキ資本金額ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ計算ス

一 銀行業及保險業ヲ除クノ外會社ニ在リテハ前年中各月末ニ於ケル出資金額、拂込株式金額、各種ノ積立金額其ノ他積立金ノ性質ヲ有スル資產金額ノ月割平均額ニ社債金額及借入金額ノ月割平均額ノ四分ノ一ヲ加ヘタル金額ニ依リ個人ニ在リテハ他ヨリ借入レタルト否トヲ問ハス前年中各月末ニ於ケル固定資本及運轉資本ノ月割平均額ニ依ル

銀行業及保險業ニ在リテハ前年中各月末ニ於ケル出資金額、拂込株式金額、各種ノ積立金額其ノ他積立金ノ性質ヲ有スル資產金額ノ月割平均額ニ依ル但シ保險責任準備金ノ二分ノ一及保險支拂備金ハ之ヲ控除ス

第十六條ノ三 課稅標準ト爲スヘキ借入金額ハ前年中各月末ニ於ケル各種ノ預金額、社債金額其ノ他ノ借入金額ノ平均現在高ノ二分ノ一ニ依リ之ヲ計算ス但シ日本銀行及横濱正金銀行ノ政府預金ハ之ヲ控除ス

第十六條ノ四 課稅標準ト爲スヘキ運轉資本金額ハ前年中各月末ニ於ケル貸付ヶ及貸付タヘキ金額又ハ物品ノ見積價格トシ月割平均ヲ以テ之ヲ計算ス

第十六條ノ五 課稅標準ト爲スヘキ建物賃貸價格ハ貸主カ公課、修繕費其ノ他土地又ハ建物ノ維持ニ必要ナル經費ヲ負擔スル條件ヲ以テ店舗其ノ他營業用ノ土地建物ヲ賃貸スル場合ニ於テ貸主ノ收得スヘキ金額ノ前年中ノ平均額ニ依リ之ヲ算定ス

同一區域内ニ在ル住居用其ノ他ノ土地建物ニシテ間接ニ營業ニ使用スルモノハ營業用トシテ計算ス

第十六條ノ六 課稅標準ト爲スヘキ從業者ハ名義ノ何タルヲ問ハス總テ營業ニ從事スル者ノ前年ニ於ケル最多數ノトキニ依リ之ヲ計算ス

第十六條ノ七 新ニ開業シタル者ニ付テハ豫算ヲ以テ其ノ課稅標準ヲ計算ス

第十七條 第一條ニ掲タル營業ト同條ニ掲ケサル營業トヲ兼營シ又ハ資本金額ヲ課稅標準ト爲ス營業ト之ヲ課稅標準ト爲ササル營業トヲ兼營スルトキハ第十六條ノ二ノ規定ニ依リ計算シタル資本金額ヨリ第一條ニ掲ケ

サル營業又ハ資本金額ヲ課稅標準ト爲ササル營業ニ對スル見積資本金額ヲ控除シタルモノヲ以テ課稅標準トス

第十八條 第十六條ノ二ノ規定ニ依リ計算シタル製造業ノ資本金額カ前年ノ資本金額ニ對シ五分ノ一以上増加シタルトキハ其ノ増加額ハ二年間之ヲ課稅標準ヨリ控除ス但シ二年繼續シテ資本金額ヲ増加シタル場合ニ於テ前前年ノ資本金額ニ對シ五分ノ一以上増加シタルトキハ其ノ年ニ限り之ヲ控除ス

第十九條 紳稅義務ヲ有スル營業者第十三條ノ届出ヲ爲ササルトキ又ハ其ノ届出テタル課稅標準ヲ不相當ト認ムルトキハ政府ハ其ノ課稅標準ヲ算定スルコトヲ得

第二十條中「其ノ年五月、十一月」ヲ「第一期ハ其ノ年五月一日ヨリ三十日限第二期ハ其ノ年十一月一日ヨリ十五日限」ニ改ム

第二十九條中「資本金額」ヲ「資本金額、運轉資本金額、借入金額」ニ、「以上ヲ」ヲ「未滿ニ」ニ、「以下」ヲ「未滿」ニ改メ「届出人員」ヲ削ル

第三十條中「翌年一月迄」ヲ削ル

第三十一條中「資本金額」ヲ「資本金額、運轉資本金額、借入金額」ニ改メ「届出人員」ヲ削ル

第三十三條中「營業者ニ尋問」ヲ「營業者若ハ之ト取引關係アル者ニ質問」ニ改ム

第三十四條 ○中「其ノ脫稅シタル者ハ脫稅金額三倍ノ罰金又ハ科料ニ處ス」ヲ削ル 左ノ各號ノ一二該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十三條ノ届出ヲ爲サス又ハ虛偽ノ届出ヲ爲シタル者ハ記載ヲ怠リタル者

二 第三十二條ノ帳簿ヲ調製セス、之ヲ隱匿シ又ハ虛偽ノ記載ヲ爲シ若モノハ營業用トシテ計算ス

三 收稅官吏ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ其ノ職務ノ執行ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シタル者

第三十四條ノ二 营業稅ヲ逋脱シタル者ハ脫稅金高三倍ノ罰金又ハ科料ニ處ス但シ自首スル者ハ其ノ稅金ヲ追徵シ其ノ罪ヲ問ハス

第三十四條ノ三 营業稅ノ調查又ハ審查ニ參與シタル者其ノ調査又ハ審查ニ關スル事項ヲ他ニ漏洩シタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス前項ノ規定ニ依リ處罰セラレタル者ハ其ノ職ヲ失フ

第三十五條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法第三十八條第三項但書、第三十九條第二項、第四十條、第四十一條、第四十八條第二項、第六十三條及第六十

六條ノ例ヲ用キス

本法ハ大正三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 唯今議題ニ上リマシタル營業稅法中改正案ハ去ル明治四十三年法律第四十五號ヲ以チマシテ一タビ改正ヲ致サレタルモノデゴザイマシテ、同時ニ非常特別稅法中、營業稅ニ關シマスルモノヲ廢セラレマシタ、而シテ其當時ノ改正ハ各業ニ涉リマシテ略、均一ノ稅率ヲ以テ輕減ヲセラレマシタ、其高ハ約二百萬圓デゴザイマシタ、今回ノ改正ハ第一ニ此負擔ノ權衡ヲ保タシムルコトノ方針ヲ以チマシテ、即チ課稅標準ノ種類、其算定ノ方法、並ニ稅率ノ按排ヲ改正イタシマシテ、併セテ負擔ノ輕減ヲ圖ル目的ヲ以チマシテ、各業ニ涉ラテ稅率ノ輕減ヲ圖リマシタ、其他現行法ノ不備ナル點ニ付キマシテ種々改正ヲ加ヘマシテ、而シテ稅ノ減額ハ三百十三萬圓餘ニナリマシテ、是ガ施行ハ明年一月一日ヨリト致シテゴザイマシタ、然ルニ衆議院ニ於キマシテ此政府提出案ニ修正ヲ加ヘラレマシタ、一體ニ此稅率ノ適用ヲ尙ホ低ク致シマシテ、ソレガ爲ニ減稅ノ總額ガ四百三十四萬圓トナリマシタ、政府提出ノ案ニ依リマスル減稅額ヨリモ更ニ百二十餘萬圓ノ減稅ノ増加トナリマシテゴザイマス、政府ニ於キマシテハ此財源ニハ餘ホド苦シム次第デゴザイマスケレドモ、院議ヲ重ンジマシテ、即チ財政整理ヲ待ッテ三年度ヨリ是ダケノ減額ヲ致スコトニ同意ヲ致シタ次第デゴザイマス、何卒速ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ御諮詢致シマス、第二ノ法案ノ特別委員ハ所得稅法案ノ特別委員ニ付託シテ御異存アリマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三、不動產登記法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、第四、非訟事件手續法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕
不動產登記法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正二年三月二十五日

右特別委員長

伯爵奥平昌恭

貴族院議長公爵德川家達殿

非訟事件手續法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正二年三月二十五日

右特別委員長

伯爵奥平昌恭

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵奥平昌恭君演壇ニ登ル〕

○伯爵奥平昌恭君 本員ハ是ヨリ不動產登記法中及非訟事件手續法中改正法律案ノ御報告ヲ致シマス、委員會ハ昨日午前十時ヲ以テ開會イタシマシテ、委員長及副委員長ノ互選ヲ終リマシテ、直チニ會議ニ移リマシタ。此法案ニ付キモ政府委員ノ御說明ヲ信ジ、其以上ニ審議ヲ遂グベキモノハナイト致シマシテ可決イタシマシタ次第、デゴザイマス。其可決ノ理由ヲ少シク申上グマスレバ、不動產登記法中ノ改正及非訟事件手續法中改正法律案、此二ツノ案共ニ關聯ヲ致シテ居リマス、併ナガラ一括シテ御說明ヲ申上グルヨリハ寧ロ之ヲ分テ御報告イタシタ方ガ便宜ト存ジマスカラ分ッテ御報告ヲ致シマス、此不動產登記法中改正ノ理由ハ、專ラ登記事務ヲ簡便ニシ、手數費用共ニ節約スルニアリマス、其改正スベキ點モ數十點アツテ、就中最モ重モナルモノハ不動產登記法中改正要點ノ一、二、三、デゴザイマス、其一ハ登記簿用紙ノ區分數ヲ減少スルノデアリマス、現行法ニ依リマスト土地ノ登記簿ニ付キマシテハ五區ニ分レテ居リマス、建物ノ登記簿ハ四區ニ分設セラレテアルノデアリマスガ、土地建物共ニ抵當權ノ區ニ於キマシテハ登記ガ最モ多ウゴザイマスケレドモ、他ノ區ニ於キマシテハ、例ヘバ地役權ノヤウナモノトシマシテハ、殆ド登記ガ

無ク全ク白紙ニナツテ居ルト云フ次第デゴザイマス、故ニ抵當權ノ登記ノ爲ニ
區分ノ數ヲ、所有權ノ區ト、他ノ權利ノ區ト、此二ツニ分ツテ、登記簿ニ白紙
ノ部分ヲ成ルベク無カラシメムトスルノデアリマス、而シテ用紙ノ費用ト新
ニ帳簿増設等ノ手數等ヲ節約シ、又申請人ノ爲ニ登記簿謄本ノ紙數ヲ少カラ
シメ、一ハ手數ヲ省カウトスルノデアリマス、ソレカラ其ニハ今回ノ改正中
ノ最モ重大ナルモノデアリマシテ、即チ共同擔保目錄ノ制ヲ新ニ設ケヤウト
云フノデアリマス、現行法ニ依リマスト數筆ノ不動產ハ抵當權ノ目的トナル
場合ニ於キマシテハ、其登記ヲ爲ス場合ニ一筆一筆毎ニ登記簿用紙ニ抵當不
動產ノ全部ヲ逐一記載セネバナラヌコトニナツテ居リマス、故ニ今假ニ十筆ノ
不動產ヲ抵當ニスル場合ニハ、百筆ノ不動產ヲ記載シナケレバナラヌ、斯ノ
如キ煩雜ノモノデアリマスガ故ニ、勸業銀行、或ハ農工銀行等ノ如キ、數百
筆ノ不動產ヲ擔保デ貸付ラスル場合ニ於テハ、登記所ノ登記ノ手數ガ極メテ
長時間ヲ要シマスル次第デゴザイマス、申請人ノ側ヨリ見マシテモ、登記ノ
完了ヲ待チマスニハ隨分時間モ掛リマスシ、且ツ登記簿謄本ノ下付ヲ得ルコ
トモ容易ナコトデゴザイマセヌ、故ニ此點ヲ補フガ爲ニ新ニ共同擔保目錄ノ
制ヲ定メタモノデゴザイマス、此目錄ニ抵當不動產ノ全部ヲ記載シタ場合ニ、
一筆一筆ニ用紙ニ其全部ノ記載ヲ省略スルコトニナツテ、手數ト時間トヲ節約
スルコトニ於テハ、非常ニ多大ナルモノデアリマス、而シテ此目錄ヲ作ルニ
ハ、現行法ニ比シマシテ當事者ノ手數ヲ增加スルコトハ決シテ無イサウデア
リマス、第三ニハ現行法ニ依リマスレバ、凡テ登記ハ當事者ノ申請ニ依ルニア
ラザレバ、如何ナル場合ト雖モ登記所自ラ進ンデ登記ヲ爲スコトガ出來ナイ
ノガ本則ニナツテ居リマス、而シテ此本則ハ極端ニ行ハレテ居リマスカラシ
テ、申請人ノ不便不利ト云フコトハ甚シキモノデアル、ソレデ改正案ノ場合
ニ於テハ、登記所ニ於テ職權ヲ以テ登記ヲスルコトガ出來ルヤウニナツテ居
ル、其中ノ最モ重モナルモノヲ舉ゲマスレバ、登記官吏ガ誤シテ登記ヲ齟齬シ、改
メルコトガ出來ナイコトニナツテ居リマス、改正案デハ職權ヲ以テ其更正ガ出
來ルヤウニシテゴザイマスル、又行政上ノ處分ニ依ツテ、町村字等ノ番地變更
サシムルニアラザレバ之ヲ更正スルコトガ出來ナイヤウニナツテ居リマス、改

地ヲ變更シテ登記ガ出來ルコトニナツテ居リマス、殊ニ大字小字ノ區域トカ、又ハ名稱ノ變更ガアツタ場合ニハ、登記簿ニ記載シテアル文字ハ其名稱文字、又ハ其名稱ハ、別段變更ノ登記ヲシナクテモ、法律上當然變更セラル、コトニナルノデゴザイマス、以上述ベマシタル點ノ外ニ、斯ノ如キ改正ノ手續ヲシタルモノガナカニゴザイマス、要スルニ悉ク其煩雜ナル手續ヲ廢シテ便宜ナル手續ノ適用範圍ヲ擴張イタサウトスルノデゴザイマス、此外ニ尙ホ法ノ不備ナル點ヲ補ツタモノガアリマシテ、即チ法條ノ整理ヲ爲シタルモノガ、二三ゴザイマス、然レドモ尙ホ前述ノ改正要點ニ比シマスレバ左ホド重大ナルモノトハ思ハレマセヌカラ、別段御報告モ致シマセヌ、非訟事件ノ手續法ノ改正ノ理由ハ不動產登記法ノ改正ニ伴ツテ商業登記トカ法人登記トカ登記ノ手續ヲ改正セムトスルモノデアリマシテ、不動產登記法ノ改正ト同様ノ改正ヲ必要トスルモノデアリマス、而シテ其必要トスル事項ヲ改正シ以テ兩登記ノ手續ノ調和ヲ圖ラウトスルノデアリマス、例ヘバ登記官吏ガ誤ツテ登記ノ錯謬又ハ遺漏ヲ來タル場合ニハ、商業登記等ニ付イテモ職權ヲ以テ之ヲ更正スルト云フコトヲ目的トシテ居ルノデアリマス、此不動產登記法中改正法律案及非訟事件手續法中改正法律案、是ハ逐條的ニ申上ダマスレバ隨分長クナリマスカラ、要點ダケヲ取リマシテ、右ノ通り御報告ヲ致シマシタ
○議長（公爵徳川家達君）諸君ニ於テ御異存ガゴザイマセヌケレバ採決ハ兩

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

リマス、第三ニハ現行法ニ依リマスレバ、凡テ登記ハ當事者ノ申請ニ依ルニアラザレバ、如何ナル場合ト雖モ登記所自ラ進シテ登記ヲ爲スコトガ出來ナイ

ノガ本則ニナッテ居リマス、而シテ此本則ハ極端ニ行ハレテ居リマスカラシテ、申請人ノ不便不利ト云フコトハ甚シキモノデアル、ソレデ改正案ノ場合

ニ於テハ、登記所ニ於テ職權ヲ以テ登記ヲスルコトガ出來ルヤウニナツテ居ル、其中ノ最モ重モナルモノヲ擧ゲマスレバ、登記官吏ガ誤ツテ登記ヲ齎齕シ、

又ハ遺漏ヲ來タシタル場合ニモ、現行法デハ申請人ヲシテ其更正ノ手續ヲ盡サシムルニアラザレバ之ヲ更正スルコトガ出來ナイヤウニナツテ居リマス、改

メルコトガ出来ナイコトニナッテ居リマス、改正案デハ職權ヲ以テ其更正ガ出来ルヤウニシテゴザイマスル、又行政上ノ處分ニ依ツテ、町村字等ノ番地變更ガアツタ場合ニハ、申請人ノ申請ヲ待タズシテ、單ニ稅務署ノ通知バカリデ番

○阪本鉄之助君 賛成

○議長（公爵徳川家達君） 奥平伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ
請ヒマス

起立者 多數

○議長（公爵徳川家達君） 三分ノ二以上ト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 本案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長（公爵徳川家達君） 過半數ト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 起立者 多數

○議長（公爵徳川家達君） 議事日程第五、明治四十三年度歲入歲出總決算、明治四十三年度各特別會計歲入歲出總決算、明治四十三年八月二十九日至同年九月三十日舊韓國政府豫算製用會計歲入歲出總決算、自明治四十三年八月二十九日至同年九月三十日舊韓國政府豫算製用各特別會計歲入歲出總決算報告並決議案二件、會議委員長報告、決算委員長寺島伯爵

明治四十三年度歲入歲出總決算、明治四十三年度各特別會計歲入歲出總決算、既往年度檢查未確定金額ノ檢查確定シタルモノ、自明治四十三年八月二十九日至同年九月三十一日舊韓國政府豫算製用會計歲入歲出總決算、至同年九月三十一日舊韓國政府豫算製用各特別會計歲入歲出總決算ヲ審査スルニ

第一

明治四十三年度歲入歲出總決算歲出臨時部海軍省所管第一款營繕費第

七項水路部改築費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件

同上第八項軍令部其他廳舍增築費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件
右ハ別紙決議案ノ通トス

第二

明治四十三年度歲入歲出總決算歲出臨時部陸軍省所管第三款營繕及初

度調辨費第一項土地買上費中臨時陸軍建築部本部ノ支出ニ係ル件

同上第十八款臨時軍事費第一項臨時軍事費中陸軍會計監督部ノ支出ニ

係ルモノ二件

明治四十三年度歲入歲出總決算歲出臨時部海軍省所管第一款營繕費第

二項菰浦大砲發射場新設費中吳海軍經理部ノ支出ニ係ル件

同上第八項軍令部其他廳舍增築費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件

明治四十三年度歲入歲出總決算歲出臨時部農商務省所管第二款製鐵所創立費第二項製鐵原料鑛山費中製鐵所二瀬出張所ノ支出ニ係ル件
明治四十三年度各特別會計歲入歲出總決算大藏省所管專賣局歲入第一款專賣局作業收入第一項作業收入中神戸專賣支局外四支局ノ徵收ニ係ル件

同上

大藏省所管韓國森林資本勘定歲出第一款創業費第一項創業費中朝鮮總督府營林廠ノ支出ニ係ル件

同上大藏省所管帝國鐵道資本勘定歲出第一款鐵道建設及改良費第二項改良費中鐵道院ノ支出ニ係ルモノ二件

同上大藏省所管帝國鐵道收益勘定歲出第一款鐵道作業費第一項事業費中鐵道院ノ支出ニ係ル件

同上大藏省所管第二項事業費中鐵道院ノ支出ニ係ル件

右ハ政府ノ措置穩當ヲ観クモノト認ム

第三

明治四十三年度歲入歲出總決算歲出臨時部外務省所管第一款營繕費第二項在外公館修築費中外務省ノ支出ニ係ル件

明治四十三年度歲入歲出總決算歲出臨時部大藏省所管第二款營繕費第七項統監官舍新營費中統監府ノ支出ニ係ル件

明治四十三年度歲入歲出總決算歲出臨時部陸軍省所管第三款營繕及初度調辨費第一項土地買上費及第二項建築費中臨時陸軍建築部本部ノ支出ニ係ル件

同上第十八款臨時軍事費第一項臨時軍事費中陸軍會計監督部ノ支出ニ

係ル件

明治四十三年度歲入歲出總決算歲出經常部海軍省所管第二款軍事費第十項患者費中佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件

同上歲出臨時部海軍省所管第十款整備費第一項造船造兵及修理費中佐

世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件

同上第十六款臨時軍事費第一項臨時軍事費中佐世保海軍經理部及臨時

海軍建築部支部ノ支出ニ係ル件

明治四十三年度歲入歲出總決算歲出臨時部文部省所管第一款營繕費第

二項仙臺醫學專門學校講義室新營費中仙臺醫學專門學校ノ支出ニ係ル件

明治四十三年度歲入歲出總決算歲出臨時部文部省所管第一款營繕費第

二項不動產登記法中改正法律案外一件確定議

明治四十三年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管專賣局歲出第一款

專賣局作業費第四項事業費中茂木專賣支局ノ支出ニ係ル件

同上第四項事業費中專賣局大阪製造所ノ支出ニ係ル件

同上大藏省所管韓國鐵道收益勘定歲出第一款韓國鐵道作業費第二項事

業費中朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル件

同上大藏省所管臺灣總督府歲出臨時部第七款理蕃費第一項理蕃費中臺

灣總督府ノ支出ニ係ル件

同上大藏省所管朝鮮總督府歲出經常部第一款朝鮮總督府第二項總督府

中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル件

同上歲出臨時部第一款事業費第九項營繕費中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

件

明治四十三年度各特別會計歲入歲出決算陸軍省所管東京砲兵工廠歲出第一款東京砲兵工廠作業費第一項補修費中東京砲兵工廠ノ支出ニ係ルモノ二件

同上千住製絨所歲出第一款千住製絨所作業費第三項作場費中千住製絨所ノ支出ニ係ル件

明治四十三年度各特別會計歲入歲出決算海軍省所管海軍工廠資金歲出第一款材料物品費第一項材料物品費中舞鶴海軍工廠ノ支出ニ係ル件

大藏省ニ於テ地料ヲ徵收スヘキ官有地ヲ無料ニテ使用セシタル件

右ハ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スヘキモノト認ム

第四

其ノ他異議ナシ

右及報告候也

大正二年三月二十四日

決算委員長

伯爵寺島誠一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

決議案

貴族院ハ明治四十三年度歲入歲出總決算歲出臨時部海軍省所管第一款營繕費第七項水路部改築費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件ハ不當ノ處置ニシテ政府ノ監督宜シキヲ得スト議決ス

決議案

貴族院ハ明治四十三年度歲入歲出總決算歲出臨時部海軍省所管第一款營繕費第八項軍令部其他廳舍增築費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件ハ不當ノ處置ニシテ政府ノ監督宜シキヲ得スト議決ス

〔伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵寺島誠一郎君 先づ最初ニチヨット申上ゲタイコトガゴザイマス、ソレハ御手許ニ回ッテ居リマスル報告書ノ第五頁八行目ノ所デゴザイマス、ソコニ「同上大藏省所管朝鮮總督府歲出經常部第一款朝鮮總督府第二項總督府中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル件」トゴザイマスル其下ニ脱ケテ居ル所ガアルノデゴザイマス、即チ印刷漏レニナッテ居ル所ガアリマス、ソレデ「及第四項警務費中朝鮮總督府警務總監部ノ支出ニ係ル件」ト加ヘテ戴キタウゴザイマス、是ハ印刷ニ落チテ居リマシテ、甚ダ不都合デアツタノデ、正誤ハ直チニ御配リ致シマスガ、斯ノ如ク切迫シテ居ル際デゴザイマスカラ、多少遅ル、コトデゴザイマセウカラ左様御承知ヲ願ヒマス……ソレデ是ヨリ此報告書ノ説明ト決議案ノ説明ヲ極簡單ニ申上ゲマス、毎年ノ通リノ條規ニ從ヒマシテ決算委員ハ選舉サレマシテゴザイマス、直チニ委員長、副委員長ノ選舉ガゴザイマシテ、副委員長ノ加太君ハ委員ヲ其後ニ至リマシテ辭任サレマシタノデ舟橋子爵ガ代ヅテ副委員長ニ選舉イタサレマシタ、是ガ委員會ノ第一回デゴザイマス、第二回ハ二月二十五日ニ開會イタシマシテ、其折ニ分科ヲ決定イタシマシタ、分科ハ例ニ依リマシテ第一分科、第二分科、第三分科、第四分科ト出來タノデゴザイマス、ソレハ擔當委員ハ成ルベク御希望ニ應ジマシテ割當テマシテ、直チニ分科ノ擔當諸君ハ分科ノ主査ヲ選バレタノデアリマス、ソレカラ此二月二十五日ノ總會ノトキニ審查期限ヲ二十日間ト致シマシテ主査カラ其日限内ニ報告書ヲ委員長マデ出シマスルコトニ取決メマシタ、而シテ三月十六日ガ即チ二月二十五日ヨリ二十日間目ニナリマス、三月十六日マデニ各主査ノ報告ガ出揃ッタコトデアリマス、依ッテ三月二十四日ニ第三回ノ總會ヲ開キマステ、其席ニ於テ各主査ヨリ親シク報告ノ説明ヲ伺ヒマシタ、次イデ質問ガアルナラバ、其時ニ伺フト致シマシタノデゴザイマス、ソレカラシテ討論ヲ經、其場合ニ政府ニ於テ辯明サル、點ヲ聽キマシタ上デ、次ニ審查報告トシテ議長ニ差出シマシテアル書類即チ御手許ニアル書類ヲ作製イタシマシタノデアリマス、是ヨリ報告ノ内容ニ立入りマシテ二三申加ヘテ置キタイト存ジマス、第

一二此決議案トシテ提出イタシマシタノガニゴザイマス、即チ第一ノ決議案ハ

貴族院ハ明治四十三年度歲入歲出總決算歲出臨時部海軍省所管第一款營繕費第七項水路部改築費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件ハ不當ノ處置ニシテ政府ノ監督宜シキヲ得スト議決ス

斯ウゴザイマス、第二ノ決議案ハ

貴族院ハ明治四十三年度歲入歲出總決算歲出臨時部海軍省所管第一款營繕費第八項軍令部其他廳舍增築費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件ハ不當ノ處置ニシテ政府ノ監督宜シキヲ得スト議決ス

第三分科ノ主査ノ陳述サレマス所ノ理由ヲ承認シマシテ、矢張リ決議案ヲ提出スルコトニ議決シタノデアリマス、其理由ノ概略ヲ申上ゲマスレバ、水路部ノ方デハ新營工事ニ粗造ノ點ガ多クアリマシテ、其工事ヲ請負ヒマシタ所ノ請負人ハ行方ガ知レズニナリ、保證人ハ死ンデ仕舞ツタ、斯ノ如ク設計ニ違反シ其出來上ツタ工事ノ粗造ナルニモ拘ラズ、其工事ニ對シ仕拂ヲシタト云フノハ甚ダ不當デアル、且ツ請負契約ノ際ニ殊ニ身元調モ行ハズ、又工事中ニ適當ナル監督方法ヲ執ラナカツタノハ甚ダ宜シキヲ得ナインデアル、斯ウ云フ理由デアリマス、軍令部ノ方ハ水路部ト殆ド同ジャウナコトデアリマシテ、矢張リ新營工事ニ粗造ナ點ガ少カラズアツタノデアリマス、設計ニ違反シテ居タ其粗造工事ニ對シテ矢張リ仕拂ヲシタト云フノハ不當デアル、其上ニ請負契約ノ基礎トナリマス内譯書ニ重キヲ置カズシテ、工事ヲ進行セシメテ行ツタノハ是モ宜シクナイコトデアル、委員會ハ工事ハ事實デアツテ年度ヤ費用ハ形式デアル、此事實ヲ誤ルトキハ將來國家ノ損害ハ甚ダ少カラヌモノデアル、寒心スベキモノデアル、斯ウ云フ次第デアリマス、斯ノ如ク委員會ハニツノ決議案ヲ提出スルコトニナツタ次第デアリマス、政府ハ此際十分ニ其重大ナル責任ヲ確認セラレテ將來反省セラレムコトヲ委員會ハ促スノデアリマス、次ニ第二トシテ掲ゲテアリマスル十餘件ハ「政府ノ措置穩當ヲ覗クモノト認ム」、ソレカラ第三ニ掲ゲテアリマスル二十餘件ハ「政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スヘキモノト認ム」、斯ウ議決イタシマシタノデアリマス、是等ハ別ニ議決ヲ提出スル程ノ事柄デナインデ、右様ナ事件ヲ指摘シテ政府ニ同ジャウナコトヲ繰返サナイヤウニ希望スルノデアリマス、終ニ第四、其他ノ總テノ件ハ悉ク「異

議ナシ」トシテアルノデアリマス、委員會ハ決算中、當然ノ支出、適法ノ處置、

一點ノ非難スベキコトノ無イ事項ハ總テ「異議ナシ」ト致シマシタノミナラ

ズ、第一分科ノ主査ノ適切ナル言葉ヲ藉リテ此所デ申上ゲマスレバ、政府ノ措置ニシテ否トシ不當違法ト認メマシタ事件デアリマシテモ、政府ガ既ニ會

計検査院ノ検定ニ服シ、且ツ其關係當事者ニ向ツテ、或ハ賠償金額ヲ納メシ

メ、或ハ行政上ノ懲戒處分ヲ加ヘ、或ハ刑法上ノ懲罰ヲ科シ、其事件ノ落著イ

タシマシタモノニ對シマシテハ、其事情ノ殊ニ重大ナルモノハ格別、然ラザレバ最早茲ニ於テ追窮スル必要ヲ認メナイト云フ趣意ニ依リ、總テ同様此「異議ナシ」ノ中ヘ分類イタシマシタノデアリマスカラ、之ヲ申添ヘテ置キマス、決

算ノ報告ハ是ニテ終リマシタ、委員會ハ最モ慎重ニ嚴密ニ審查シテ茲ニ至リ

マシタ次第デアリマスルカラ、何卒諸公ニ於キマシテモ、直チニ此二項ノ決議案、並ニ報告ニ御協賛クダサイマシタ上、可決アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 採決イタシマス、請願委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔「決算委員デス」ト述フル者アリ〕

唯今議長ハ請願委員ト申誤リマシタ……

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、此際議事ノ都合上、休憩ヲ致シマス、諸君ニ申上ゲマスガ、本日ハ重要ノ法案ガ未ダ議了イタシマセヌカラ、イツ何時再び議場へ御集リヲ願フカモ知レマセヌ、左様御承知置ヲ請ヒ

午前十時四十五分休憩

午後四時十六分開會

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス
〔河井書記官朗讀〕

本日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

登録稅法中改正法律案

蠶絲業法中改正法律案
辯護士法改正法律案

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵柳澤保惠君

副委員長 新次君

社寺上地下戻ニ關スル法律案特別委員會

委員長 關清英君

副委員長 千頭清臣君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案可決報告書

明治四十四年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、明治四十四年度豫備

金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、明治四十四年

度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、明治四十四年度特別會計

豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、可決報告書

水道條例中改正法律案可決報告書

裁判所構成法中改正法律案否決報告書

辯護士法中改正法律案否決報告書

刑事略式手續法案

右貴院ノ送付ニ係ル政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十
五條ニ依リ及回付候也

大正二年三月二十六日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、諸君ニ御説リヲ致
シマス、唯今書記官ヲシテ報告イタサセマシタ衆議院ヨリ回付ニ相成リマシ
タ刑事略式手續法案ノ會議ヲ、議事日程ヲ變更シテ會議ニ付シテ御異存ゴザ
イマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔小字ハ衆議院ノ修正
ハ同削除ノ符號〕

刑事略式手續法

第一條 區裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ其ノ管轄ニ屬スル刑事ノ事件ニ付公

判前略式命令ヲ以テ罰金、拘留又ハ科料ヲ科スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ同時ニ沒收ヲ科シ其ノ他附隨ノ處分ヲ爲スコトヲ得

略式命令ハ被告人ニ其ノ正本ヲ送達シテ之ヲ爲ス但シ裁判所書記本人ニ

正本ヲ交付シタルトキハ送達アリタルモノト看做ス

第二條 略式命令ノ請求ハ公訴ノ提起ト同時ニ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三條 裁判所ハ前條ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ事件略式命令ヲ爲ス
コトヲ得ス又ハ之ヲ爲スコトヲ相當ナラサルモノト思料スルトキハ通常

ノ規定ニ從ヒ裁判ヲ爲スヘシ

第四條 裁判所ハ略式命令ヲ發スル前被告人ニ對シ書面ヲ以テ其ノ豫告ヲ爲スヘシ

被告人ハ豫告ニ發シタル日ノ翌日ヨリ起算シ三日内ニ書面ヲ以テ異議ノ申出ヲ爲スコトヲ得

被告人遠隔又ハ交通不便ノ地ニ在ルトキハ裁判所ハ附加期間ヲ定ムルコトヲ得

第五條 略式命令ノ豫告ニハ被告事件、科スヘキ刑及附隨ノ處分並前條ノ期間内ニ異議ノ申出ヲ爲

ササルトキハ略式命令ヲ爲スヘキ旨ヲ明示スヘシ

第六條 裁判所ハ異議ノ申出アリタルトキハ通常ノ規定ニ從ヒ裁判ヲ爲スヘシ

裁判所豫告ヲ爲シタル後第三條ノ事由アリタルトキ亦前項ニ同シ

第七條 裁判所略式命令ニハ罪ト爲ルヘキ事實、適用スヘキ法令ノ規定、科スヘ

キ刑及附隨ノ處分並正本ノ送達アリタル日ヨリ七日内ニ正式裁判ノ申立

ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ明示スヘシ

略式命令ノ原本ニハ裁判所及年月日ヲ記載シ判事裁判所書記ト共ニ署名

捺印スヘシ

第八條 裁判所略式命令ヲ爲シタルトキハ檢事ニ其ノ正本ヲ送致スヘシ

第九條 刑事訴訟法第十九條ノ規定ハ略式命令ノ送達ニ之ヲ準用ス

第十條 略式命令ヲ受ケタル者ハ正本ノ送達アリタル日ヨリ七日内ニ正式

裁判ノ申立ヲ爲スコトヲ得

刑事訴訟法第十五條乃至第十七條、第二百七條第二項、第二百四十七條

及第二百四十八條ノ規定ハ前項ノ申立及其ノ期間ニ之ヲ準用ス

第十一條 正式裁判ノ申立ハ略式命令ヲ爲シタル裁判所ニ書面ヲ以テ之ヲ爲

スヘシ

正式裁判ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ速ニ其ノ旨ヲ檢事ニ通知スヘシ

第十二條 正式裁判ノ申立ハ之ヲ拋棄シ又ハ第一審ノ判決アル迄之ヲ取下ク

第十一條 法律上ノ方式ニ違ヒ又ハ期間ヲ経過シタル正式裁判ノ申立ハ決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ此ノ決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ抗告ニハ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

正式裁判ノ申立ヲ適法ナリトスルトキハ通常ノ規定ニ從ヒ裁判ヲ爲スヘシ

シ裁判所ハ此ノ場合ニ於テ略式命令ニ拘束セラルルコトナシ

第十二條 正式裁判ノ申立ヲ爲シタル被告人公判ニ出頭セサルトキハ裁判所ハ對席トシテ裁判ヲ爲スヘシ

第十三條 略式命令ハ正式裁判ノ申立ニ因リ判決アリタルトキハ略式命令ハ其ノ效力ヲ失フ

第十四條 刑事訴訟法第二十條及第二十一條ノ規定ハ本法ニ依リ作ルヘキ書類ニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○富井政章君 チヨット一言意見ヲ述べテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○富井政章君 本員ハ此衆議院ノ修正ニ對シテハ、本院ノ院議ヲ重ンズル趣旨ヨリ反対イタシタインデアリマスケレドモ、此修正ハ格別重大ナルコトデアリマセヌ、又會期モ切迫シテ居ル今日デアリマスカラ、是ニハ進ンデ同意ヲ表スルコトニナリタイト思ヒマス、是ダケチヨット申上ゲマス

○子爵岡部長職君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 富井君ニ伺ヒマスガ、衆議院ヨリ回付セラレタル案ニ同意ヲ表スルト云フコトデスナ、サウ伺ッテ宜シウゴザイマスカ

○富井政章君 左様ゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 富井君ノ說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵曾我祐準君 議事日程ヲ變更サレマシテ、所得稅法中改正法律案ノ特別委員會ノ報告ヲ致シタウゴザイマス、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス

○伯爵正親町實正君 贊成

○伯爵徳川達孝君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 曾我子爵ノ議事日程變更ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、曾我子爵ニ伺ヒマスガ、非常特別稅法廢止ニ關スル法律案、是モ矢張リ同一委員ト思ヒマスガ、ソレモ矢張リ報告ニナリマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 無論ソレデ諸君ニ於テ御異存ナイト思ヒマスガ…

○議長(公爵徳川家達君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ兩案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長曾我子爵

○議長(公爵徳川家達君) 所得稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正二年三月二十六日

右特別委員長
子爵曾我祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

非常特別稅法廢止ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正二年三月二十六日

右特別委員長
子爵曾我祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君　昨日付託ニナリマシタ所得稅法中改正法律案特別委員ノ審査ノ經過、並ニ決議ノ理由ヲ報告イタシマス、本案ハ皆サン御承知ノ通り隨分早クヨリ國民ノ希望スル所ノ修正デアリマス、例ノ日露戰爭ノ際非常特別稅ト云フ稅ガ出マシテ、所得稅ニモ甚ダ重クナツテ居リマス、ソレヲ此節改正スルト云フ大體ノ案デアリマス、政府ヨリ提出サレマシタル所ノモノハ、大概金額ノ減ガ凡ソ五百六十五万圓バカリノ積リニ修正サレテ居ルノデアリマス、而シテ其施行期限ハ大正三年度ヨリト云フコトニナツテ居リマス、サウシテ其内容ハ之ニ澤山數ガアリマスヤウニ、餘ホド輕減サレテ居リマス、然ルニ衆議院ニ於テ修正ヲ加ヘテ居リマス、是モ筆數ガナカ～澤山デアリマス、併シ各金額ノ階級ニ依ツテ修正サレタ所ハ、一々説明ヲ致シマセヌ、大體ニ於キマシテ衆議院ノ本案ニ對スル修正ハ尙ホ金額ヲ減ジテ居リマス、其金額ヲ減ジタ高ハ百四十八万バカリノ減額ニナリマス、而シテ其施行期限ガ大正二年度ノ、即チ本年ノ五月ヨリト云フ修正ニナツテ居リマス、之ヲ要シマスルニ、衆議院ノ案ハ負擔ニ於テモ唯今申シマス通り一年ノ概數百四十八万ト云フ輕減ヲ來タシマス、又一年早ク施行サレルト云フ譯デアリマスカラ、人民トシテ即チ此稅ヲ納ムル人ノ爲ニ取ツテハ誠ニ仕合セナコトデアリマス、又是ガ非常特別稅法ニ依ツテ此負擔ガ重クナツテ居ルコトデアリマスカラ、前年ヨリ此議場ニモ隨分是ハ苛稅デアル、減ズベキモノデアル、修正スペキモノデアルト云フ聲ハ、隨分聞エタ次第アリマス、勿論貴族院ノミナラズ、衆議院ニ於テモ其聲ハ度ミアツカコトダト思ハレマス、ソレデ其財源即チ大正三年後ノ財源ハ政府ガ屢々兩院ニ於テ言明セラル、如ク種々ノ整理ヲシテ三千七百万圓ト云フモノヲ出スト云フコトモアリマスガ、大正二年度ニ於テハ此財源ガ無イ譯デアリマスニ依ツテ、法ハ結構ナモノデアルガ其財源ヲ如何ニスルカト云フコトハ、審査委員ニ於テ第一ニ問題ニナリマシタ、政府ハ金額ノ増加ノ修正ニ對シテハ誠ニソレハ困ル、併ナガラ兩院ノ院議ヲ重ンジテ、若シモ左様ナコトニナツタナラバ、非常ナ手段ヲ採ッテヤルヨリ外仕様ガナイ、甚ダ苦シイ、甚ダ

好マヌコトデアル、サリナガラ院議ヲ重ンズル以上ハ何トカ考ヘナクテハナラヌ、何トカ苦シクテモ一ツ忍バナクテハナルマイト云フヤウナコトデ、判員ノ權能ヲ以テ政府ガ反對シヤウガ贊成シヤウガ、即チ衆議院デ反對セラレタニモ拘ラズシテ我ミハ又貴族院トシテ見ル所ヲ以テ之ヲ否トスルモ可トスルモ何等障リハ無イヤウデアリマスガ、政府ハ餘ホド困ル、非常ナ大奮發ヲ以テセネバ此年度即チ大正二年度ニ於テ實行スルコトハ非常ニ困ルト云フコトヲ言ハレマシタ、サリナガラ院議ヲ重ンズルト云フコトモ、ソレト同時ニ申述ベラレマシタ、兩院デ決議ヲシタ其院議ヲ排スルト云フコトハ勿論出来ヌコトデアリマスル、現ニ院議ヲ重ンズルト云フコトヲ申サレマスガ、其院議ヲ重ンズルト云フ語ガアル以上ハ、是ガ兩院ヲ通過シタナラバ法律トナツテ實行セラル、ノハ申スマデモナイコトカト存ジマス、右ノヤウナ次第デ、此案ハ議シ掛リマシタガ、何サマ財政ノコトデアリマシテ、即チ經濟ノコトデアリマスカラ、餘リ無理ナコトガ出來テモ困ルト云フノデ、熟者ノ爲ニ休憩ヲ致シマシタ、サウシテ尙ホ委員モイロ～打解ケテ申合セモ致シマシタガ、矢張リ前ニ申スヤウニ是ハ宿案デモアルシ、又ハ事實重イ課稅ト認メラル、モノデアルニ依ツテ、政府ガ院議ヲ重ンズル以上ハ實行ニナルニ相違ナイ、苦シクハアラウケレドモ思ヒ切ツテ政府ニヤラセルヤウニ、即チ衆議院案ニ贊成スペキデアル、斯様ナコトガ一體ノ委員ノ考ニナリマシテ、サウシテ順序ニ進ンデ決議ヲシマスコトニナリマシタ、ソレハ今日ノ午後、今ヨリ早イコト一時間バカリ以前デアリマス、ソレデ決ヲ採リマス際ニ、此委員ハ御承知ノ通リ十八人デアリマスガ、皆御揃ヒデアリマシタ皆御揃ヒデアリマシテ決ヲ採リマストキニ反對サレタ方ハ唯一人デアリマス、他ハ皆贊成デゴザイマシタ、其一人ノ反對ノ理由ハ、財政上ニ付イテ大ナルノ理由ヲ以テ大分長イ演壇ニ於テ御陳述アラムコトヲ希望イタシマス、我ミハ我ミガ贊成シタ方ノ側デ申シマスルト、右申シマシタガ、ソレヲ茲ニ今申上グルノハ私ガ其意志ヲ十分ニ説キ盡スヤ否ヤ甚ダ疑ヒガアリマスルニ依ツテ、願ハクハ此御議論ハ此案ニ對シテ始メヨリ苛稅ト認メル稅デアリ、又是ガ出タ時分ハ非常特別稅デアツテ、此改テハ誠ニソレハ困ル、併ナガラ兩院ノ院議ヲ通過セシメタナラバ、ドウナサル、斯ウ云フ質問ニ對シテハ誠ニソレハ困ル、併ナガラ兩院ノ院議ヲ通過セシメタナラバ、斯様ニ明言サレマス、サリナガラ貴族院ニ於テ若シモ是ガ修正案通り通過シテ、即チ兩院ガ此案ヲ通過セシメタナラバ即チ修正ニ於テ通過セシメタナラバ、ドウナサル、斯ウ云フ質問ニ對シテハ誠ニソレハ困ル、併ナガラ兩院ノ院議ヲ通過セシメタナラバ、斯様ナ意志デ此案ヲ贊成イタシマシテ、即チ原案……

ト申シマスルノハ衆議院案デゴザイマスガ、衆議院案ノ如ク總テ賛成ト云フコトニナリマシタ、今申シマシタ通リ十八人ノ中一人ヲ除クノ外ハ皆賛成サレマシタ、今一案ハ非常特別稅法案デアリマスガ、是ハ殆ド前案ノ自然ノ結果ト云フヤウナ譯デ、非常特別稅法廢止ニ關スル法律案ト云フ題デアリマス、是ニモ無論、當然ノ結果、同様ニ委員ハ賛成ヲ致シマシタ、此段御報告ヲ申上ゲマス

○村田保君 議長ニチヨット伺ヒタイ、ドナタカ反對ノ意見ヲ以テ通告ヲサレタ方ハゴザイマセヌカ、ソレヲ御尋シタイ

○議長（公爵徳川家達君） 議長ニ御尋ト云フコトデアリマスガ、通告ガ一人ゴザイマス、併シ是ハ賛成ノ方デ、反對者ノ通告ハゴザイマセヌ、是ヨリ通告順ニ依リマシテ御登壇ヲ促サウト存ジマス、田男爵

〔男爵田健治郎君演壇ニ登ル〕

○男爵田健治郎君 私ハ此委員長報告、即チ衆議院案ヲ賛成スル者デゴザイマスルガ、反對論ガ無イノデゴザイマスカラ別ニ賛成説ヲ述べル必要ハナイカモ存ジマセヌガ、併シ頗ル重大ナ問題デゴザイマスルデ、唯極メテ大體ダケノ賛成説ヲ申述ベヤウト存ジマス、此所得稅ノ減稅ニ付キマシテハ、昨年モ西園寺内閣ノ場合ニ當リマシテハ我々ハ此財政及稅制ノ事ニ付イテ政府ノ所見ヲ質シマシタ、其場合ニ於テ西園寺首相ハ減稅的稅制整理ヲスル、經費節約的行政整理ヲスルト云フコトヲ固ク言明サレタノデゴザイマス、デ我々ハ必ズ其言責ヲ履行セラル、ト思テ深ク望フ置イテ居リマシタ、然ルニ遺憾ニモ西園寺内閣ハ昨年辭職サレマシテ此言責ヲ履行サレナカッタノハ誠ニ遺憾ナコト、考ヘマス、然ルニ今日、山本總理大臣ガ政局ニ當ラレテ、而シテ此所得稅法ノ改正案ヲ提出サレマシタ、デ我々ハ此財政ノ基礎ノ鞏固ニ立ツト同時ニ減稅案ガ出タナラバ實ニ満腹ノ喜フ以テ歡迎シタデゴザイマセウガ、遺憾ナルカナ財政ノ經畫ガ真ニ確立スルト云フコトニ至ラズシテ、政府ハ誠意ヲ以テ十分ニヤル積リデアルケレドモ、何分ニモ大正二年度ニ當ツテノ節約ノ金額ヲ確答スルコトガ出來ナイノハ遺憾ナ次第デハアルガ、勿論大ニ行政財政ノ整理ヲ斷行シテ此財政ノ基礎ノ鞏固ヲ圖ルト云フ希望ノ下ニ、此減稅案ヲ出サレタノデアリマス、斯ク財政上真ニ經畫ノ立タザルトキト雖モ尙ホ之ラレテ出サレタコト、存ジマスルノデゴザイマス、ソレデ衆議院ハ政府ノ原

案ニ對シテ約百四十八万デアリマシタカト云フモノヲ餘計ニ減額スルコトノ修正案ガ出マシタ之ニ對シテ政府ハ同意ヲ表サレテ居ルノデゴザイマス、是ハ我々モ勿論出來ルコトナラバ之ニ越スコトハナイト贊同スル者デゴザイマス、唯議論ニナルノハ政府ハ大正三年度ヨリ施行スルト云フコトノ原案ニ對シテ大正二年ヨリ施行スルト云フ衆議院ノ此修正ト申スコトガ一ノ議論ノ種デゴザイマス、之ニ向ツテ政府ノ所信ヲ我々ハ尋問イタシマシタ所ガ、政府ハ衆議院ニ於テモ遺憾ナガラ同意ヲシ兼子ルト申サレ、貴族院ニ於テモ矢張リサウ云フ次第デアリマスルガ、併ナガラ若シ貴族院ガ衆議院案ヲ可決シタナラバ如何ナル御處置ヲ執ラル、カ、昨日ノ議場ニハ私ハ列スルコトヲシマセナンダケレドモ、或ル議員ノ質問ニ對シテ總理大臣ハ其時ハ兩院ノ院議ヲ重シジテ相當ノ處置ヲ執ルト云フコトヲ答ヘラレタ趣デアリマス、而シテ此委員會ニ於キマシテ私モ委員ノ一人トシテ列席イタシマシテ、段々總理大臣、大藏大臣ノ意見ヲ質問ヲ致シタノデアリマス、而シテ其答ニ大藏大臣ハ斯ク申サレマシタ、是ハ唯意味デゴザイマスカラ、言葉ソックリデナイカラ、速記ト照ラシ合セタラバ多少違ヒハアルカモ知レマセヌガ、大藏大臣ノ答ヘラレタ意味ハ、萬一、二年度ヨリ施行スルト云フヤウナコトニ貴族院ニ於テ御決シニナッタナラバ、政府ハ大ニ經常費ノ節約ヲ厲行シテ、サウシテ其財源ノ減少スルヲ補フ所ノ財源ヲ作リ出スコトヲ努メテ實施スル見込デアリマスル、ト云フ意味ヲ申サレマシタ、而シテ又總理大臣ニ尋子マシタ、總理大臣ノ御答ニハ政府ハ何處マデモ三年度ヨリ實施スルコトヲ望ムノデアリマスルガ、併ナガラ若シ院議ガ二年度ヨリ實行スルコトニ決シタナラバ、是ハ萬已ムヲ得ザルコトデアツテ、政府モソレバ困難デアルケレドモ、院議ヲ尊重シテ大藏大臣ガ答ヘラレタ如ク非常ナ決心ヲ以テ之ニ應ズルノ經畫ヲ立テル外ハアリマシテハ、決シテ政府ハ之ヲ撤回スルトカ或ハ御裁可ヲ仰ガヌトカ云フヤウナリ此輿論ニ反シタル御處置ハ御執リニナラヌモノデアラウト云フコトヲ深ク信ズルノデアリマス、ト云フモノハ此減稅ノ事タルヤ一朝ニシテ起ツタルコトデハナクシテ、殆ド昨年以來カラシテ西園寺内閣ガ明言サレテ以來、天下ノ人ハ之ヲ必ズ實行サレルトイフコトハ、モウ殆ド既定ノ事實ノ如クニ期シテ

居ツタノデアリマス、唯内閣ガ變ツタ爲ニソレヲ責メルコトハ出來ヌト云フヤ
ウナルコトニナツタノデアリマスル、ケレドモ現内閣ハ或ル點ニ於キマシテハ

西園寺内閣ノ主義方針ヲ遂行スルト云フコトヲ努メラレル趣デアル以上ハ、
即チ之ヲ本年度デ履行セラル、ト云フコトハ、内閣ノ最モ德義上ノ御責任デ
モアリ、且又今日ノ事情ニ於キマシテ既ニ減稅ノ恩澤ヲ施サレルト云フ以上

ニ於テハ、之ヲ一日モ早ク其恩澤ノ普及スルコトヲ努メラル、ハ最モ必要ナ

ルコト、存ジマス、ソレデアリマスルカラ既ニ内閣諸公ガ大ナル決心ヲ以テ

百難ヲ排シテ之ヲ履行スルト云フコトノ御決心サヘ固クアルナラバ、此事ハ
大正二年度カラ履行スルコトガ出來得ルノデアリマセウト信ズルガ故ニ、既
ニ然レバ即チ此兩院ノ議員ノ殆ド一致ノ論トモ申シテ宜イ所ノモノハ喜ンデ
御容レ下ス^タテ一大奮發ヲ以テ之ヲ大正二年度ヨリ御履行ニナルコトヲ是非
トモ御願ヒシタク次第デゴザイマスル、私ハ賛成ノ理由ヲ簡單ニ申述ベテ諸

君ノ御賛同ヲ仰ギマス

○村田保君 本員ハ實ハ反對説デモゴザイマシタラ大ニ述べタイト存ジマス

ルデスガ、他ニ反對ノ説モゴザイマセヌデハ、本員ハ實ハ述べタイコトハア
ルケレドモ、ソレハ述べマセヌ、併ナガラ本員ハ政府ニ少シ希望ヲ述べテ置

キタイト思ヒマス、ソレハ外デハゴザイマセヌガ、此案ト申スモノハ政府ハ
全ク誠意ヲ以テ出サレタカモ知レマセヌ、又サウ言ハレナクテハナルマイト
存ジマス、併シ我ミノ見ル所デハ是ハ實ニ陰險ナル法案ダ、即チ一口ニ申シ

マスレバ計略ニ掛ケラレタ所ノモノデアリマス、併ナガラ貴族院ハ大體トシ
テ衆議院案ノ通リ賛成ヲサレマシタ故ニ本員ハ誠ニ非常ニ之ヲ喜ンデ居リマ
ガ無イト認メマスカラ採決ヲ致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸

君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ發言者ノ通告モゴザイマセヌシ、他ニモ發議

ス、ソレデ將來斯ノ如キ法案ハドウゾ左様ナ陰險ナル意ヲ以テ御出シニナラ
ヌコトヲ政府ニ唯今ヨリ希望シテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ發言者ノ通告モゴザイマセヌシ、他ニモ發議

ス、ソレデ將來斯ノ如キ法案ハドウゾ左様ナ陰險ナル意ヲ以テ御出シニナラ
ヌコトヲ政府ニ唯今ヨリ希望シテ置キマス

起立者 多數
○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵曾我祐準君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵田健治郎君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○江木千之君 賛成

○桑田熊藏君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、兩案全部ヲ問
題ニ供シマス、……全部御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵曾我祐準君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、……第二讀會決議通

リデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、……第二讀會決議通

リデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

セヌカ

「異議ナシ」と呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案、政
府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正二年三月二十六日

右特別委員長

伯爵柳澤保惠

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔伯爵柳澤保恵君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保恵君 京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案、此法律案ハ特別委員ニ付託ニナリマシタノデ、本日會議ヲ開キマシタ、政府委員ノ説明ヲ承リマシテ可決スベキモノト認メマシタ、此案ハ御覽ノ通リニ極メテ簡單ナル案デゴザイマシテ、趣旨ハ一般會計ヨリ特別會計ニ十二万圓ヲ支出スルト云フ案デゴザイマス、其大體ノ趣意ヲ説明申上グマス、御承知ノ通リニ此東京大學竝ニ京都大學トモ特別會計法ガゴザイマシテ、既ニ年々ノ支出ガ決ツテ居リマス、然ルニ此度京都帝國大學ノ理工科大學ノ化學教室ガ火災ニ罹リマシテ、之ヲ復舊スル必要ガ起リマシタ、其額ハ二十六万四千圓デアリマス、ソレ故ニ此全部ノ額ニ向ヒマシテ京都大學ノ有ツテ居リマスル資金ヨリ支辨スルコトガ出來マセヌノデ補助ヲ仰グト云フノデアリマス、此京都大學ノ有ツテ居リマスル資金ハ現今重モニ公債證書ニナツテ居リマス、現金モゴザイマス、公債證書ハ昨年十二月ノ末デハ額面十万千百圓、時價ニ直シマシテ九万七百十七圓、預金部ニ預ケテ居リマスル現金ハ七万五千九百四十五圓八十七錢二厘ト云フ、此合計ノ内ヨリ京都大學ニ於キマシテハ十四万四千圓ヲ出シス、公債證書ハ京都大學ニ於キマシテハ十四万四千圓ヲ出シマシテ不足シマス所ノ十二万圓ヲ國庫支辨ヲ仰グト云フコトデアリマス、併ナガラ是ハ又特別ノ法律ノ規定ヲ要シマスノデ、此法律案ガ出タ譯デアリマス、之ニ付キマシテ三四質問ガ出マシタ、第一ノ質問ハ元來、大學ノ有ツテ居ル定額ト云フモノガ年々定ツテ居ルガ、是ハ臨時費モ經常費モ總テ支辨スルト

云フ爲デアルカドウカ、東京ニハ百三十萬圓ホド、京都ガ八十四萬圓ホドアルノデアルケレドモ、非常ノ場合ニハ之ヲ以テ支出ハ甚ダ出來ニクイ、殊ニルカラ、到底資金ヲ以テノ融通ハ困難デアリマス、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、尙モウ一ツノ質問ハ大學ノ目抜ノ建物ト云フベキ所ノ立派ナ建物ガ焼ケタノデアルノデアル、例ヘバ或ル學術用ノ高價ナ物ヲ買フトカ或ハ其他必要ナル高價ノ物ヲ買フト云フ爲ニ斯ノ如キ資金ヲ作ツテ居ッタ、ソレデ以テ向ケテ行クト云フモノヲ使フ譯デアツテ、不時ノ用ニ使フト云フコトハ此資金ノ目的ニハ反スルデハナイカト云フヤウナ御質問モ出マシタ、ソレニ對シテハ成ルベク出来ルダケハ斯様ナ資金カラシテ融通スルノガ尤モデアラウケレドモ、併ナガラ又不足ノモノヲ國庫ヨリ出スト云フコトガ相當ノヤウニモ思フト云フ答辯モ或ル建物ニ保險ガ附イテ居ル、併ナガラ是ハ全部デハナイ、何カ氣紛レニ付ケタヤウナ風ニ見エルノデアルガ、果シテ附ケテアルカ、今度ノ場合ニハサツパリ火災保險ハ效用ハ無カッタガ是ハ困ルデハナイカト云フヤウナ質問ガ出マシタ、ソレニ對シマシテハ成ルホド火災ノ虞ガアルモノニハ附ケテ居ルガ、全部ト云フ譯ニハナカヽ行キ兼子ル、今回ノ如キ場合ハ火災ノ虞ノナイモノデアツタカラシテ付ケテ居ナカッタノハ不注意デアルガ、他ノ燃燒シ易イヤウナモノハ大抵付ケテアルト云フ御答辯デアリマシタ、斯様ナ質問ガゼザイマシタ末、探決ノ結果、異議ナク可決サレマシタ、尙ホ之ニ付キマシテ希望ガ出マシタ、ソレハ先キホド申上ゲタ通リデゴザイマスルガ、尙ホ再應申上ゲマスルガ、ソレハ斯様ナコトハ大學ノ資金ハ特別ノ目的ニ向ツテ使フベキモノデアルカラシテ、何カ將來今度ノヤウナ場合ガアツテモ、ソレカラ一部份ヲ出シテ、一部分國庫ニ仰グト云フコトヲセズシテ、全部、國庫ニ仰イグラドウデアラウカ、之ニ付イテハ能ク考慮ヲ回シテ貴ヒタイト云フ御希望デゴザイマシタ、之ニ付イテハ政府委員モ丁承サレタコトデゴザリマス、極メテ簡單ナ案デゴザイマスルノデ、讀會ヲ省略セラレマシテ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵寺島誠一郎君 柳澤伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ贊成イタシマス

- 男爵辻新次君 賛成
- 伯爵大原重朝君 賛成
- 男爵關義臣君 賛成
- 男爵原口兼濟君 賛成
- 伯爵奥平昌恭君 賛成
- 男爵田健治郎君 賛成
- 谷森真男君 賛成
- 江木千之君 賛成
- 下條正雄君 賛成
- 男爵武井守正君 賛成
- 富井政章君 賛成
- 男爵武井守正君 賛成
- 議長(公爵德川家達君) 柳澤伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ
請ヒマス
- 議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス
- 議長(公爵德川家達君) 本案、委員長ノ報告通り、御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 子爵曾我祐準君 議事日程ヲ變更セラレマシテ、大正二年歳入歳出總豫算追加案(第一號)
算同各特別會計歳入歳出豫算、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件、
此三案及追加豫算七案、此委員會ノ報告ヲ致シタウゴザリマス
- 男爵田健治郎君 賛成
- 江木千之君 賛成
- 議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ議事日程變更ノ動議ニ御異存ゴザイマ
〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- セヌカ

一大正二年歳入歳出總豫算案
一大正二年各特別會計歳入歳出豫算案
一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモ
ノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正二年三月二十六日

豫算委員長
子爵曾我祐準

貴族院議長公爵德川家達殿

一明治四十五年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

一明治四十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモ
ノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正二年三月二十五日

豫算委員長
子爵曾我祐準

貴族院議長公爵德川家達殿

一明治四十五年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一明治四十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

一大正二年各特別會計歳入歳出豫算追加案(第一號)

一大正二年各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモ
ノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正二年三月二十五日

豫算委員長
子爵曾我祐準

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 唯今議事日程ノ變更ヲ要求シマシテ議題ニナリマシタル豫算ニ付イテ報告ヲ申シマス、始メノ三案ハ去ル十七日委員ニ付託ニナリマシタ、皆サン御承知ノ通り當年ハ會期切迫デアリマスニ依ツテ、即日ヨリ會ヲ開キマシテ三日間ニ亘ツテ豫算總會ヲ開キマシタ、而シテ分科ニ於テ審査スル日間ト決メマシタ、此内ニハ、祭日一日、日曜一日ヲ含ンテ居リマスガ、祭日ハ特別トシマシテ、日曜日ハ各分科ニ於テ矢張リ審査ヲ遂グラレタ分科モ澤山アリマス、二十四日ニ至リマシテ分科ノ審査結了ノ趣ガ報告ガアリマシタニ依ツテ、二十五日午前九時ヨリ又豫算總會ヲ開キマシタ、サウシテ先ヅ例ニ依テ各主査ノ報告ヲ受ケマシタ、然ル後、質問ニ及ビマシタヤウナ次第デアリマス、抑、本年ノ豫算ト云フモノハ一種特別ナモノデアリマシテ、此豫算ヲ編成サレタ内閣ガ此豫算ヲ説明サル、ノデナク、又説明サル、内閣ガ此豫算ヲ完全ニ施行サル、ト云ハル、ノデモナイ、即チ豫算ヲ拵ヘタ内閣ト此豫算ノ執行ニ當ル内閣トハ別ナ内閣デ、而シテ此豫算ヲ完全ニ施行スル積リデハナイ、斯様ニ初メヨリ明言サレテ居ルコトハ皆サン御承知ノ通りデアリマス、本年ノ豫算ノ性質、既ニ然ルガ故ニ、數字ニ付イテ審査スルト云フコトハ、各分科會ニ於キマシテモ又ハ豫算總會ニ於キマシテモ至ツテ大略ナモノデアリマシタト云フコトヲ、ドウカ諸君初メヨリ御承知ヲ願ヒ置キタウザイマス、初メノ豫算總會ニ於キマシテハ今前ニ申シマシタモ至ツテ大略ナモノデアリマシタト云フモノヲ續イテ開キマシタ、此間ニハ非常ニ澤山ナ質問ガアリマシタ、先ヅ第一ニ内閣ハ違ヒマスガ、前年ノ通常會ニ於キマシテ豫算總會ノ終ニ決議ヲ以テ希望シマシテ、時ノ内閣大臣ガ殆ド約束ヲシタル如キ答ヲナサレマシタ所ノ例ノ五箇條ノ成行キ、即チ行政整理等デアリマス、而シテ又財政整理、……其席デ質問ノ出マシタノハ行政整理、財政整理、國債、國際經濟、正貨準備、公債募集、大藏省證券發行額等ニ係ル所ノ財政要目ハ申スマデモナク、國防、軍備又ハ外交、教育等、凡ソ國政ノ重要ナル問題ハ大概問題ナラザルハナク、即チ質問ノ材料タラザルハナイト云フ次第デアリマシタ、或ル問題ニ付イテハ幾十回モ繰返サレタノモアリマシタ、又外交ト國防ニ付キマシテハ長イ間ノ祕密會ヲ開キマシタコトモアリマシタ、政府ハ此豫算ニ付キシテハ完全ニ施行ヲシナイト申シマスノハ、此豫算ヨリ多ク金ヲ使フト云フ

意味デハナクテ、此豫算ノ中ニ於テ力及ブベキダケ十分ニ節減ニ節減ヲ加ヘ

テ多クノ剩餘金ヲ確ニ生ゼシムル、斯ノ如キ趣意ニ依ツテデアリマス、ソレハ度ミ言明サレマシタノハ、諸君モ多分御承知デゴザイマセウ、斯ノ如キ問題ニナリマスト、何人モ、非常ナ節儉ヲスル、節減ヲスルト仰セラレ、バ、凡ソドノ位ノ金ガ餘ルカト云フコトハ勢ヒ問ハザルヲ得ヌヤウナ次第デアッテ、度ミ此問ガ出マシタガ、政府ハ責任ノアル身トシテ即席ニカツキリト、其整理ガ……十分整頓セヌ間ハ金高ニ付イテハ明言シ能ハヌ、唯成ルベク多ク節減シ得ルダケ努メルト云フコトニ止リマシタ、而シテ又本年ノ豫算デハアリマセヌガ、大正三年度ニ於テハ陸軍ト特別會計ノ大部分トヲ除イテ確ニ三千七百萬圓ハ節減スルト云フ斯様ナコトデアリマスカラ、大正三年度ニハ三千七百萬圓節減スルト云ヘバ、ソレガ半バ運ンダトシテモ殆ド二千萬圓出ルヤウナ譯、如何デアラウカ、ソレハ銘々ノ想像デ、大正二年度ニ於テ節減シ得ルダケハ銘々ノ想像ニ任セテ置クヨリ仕様ガゴザイマセヌ、而シテ其大正二年度ニ於キマシテモ又ハ三年度ニ於キマシテモ政府ハ誠意誠心ヲ以テ十分ニヤル、己レ等ヲ信用シ信賴セヨト云フコトヲ明言サレマシタ、我々ハ其言明ヲ決シテ疑フモノデアリマセヌ、信賴セムト欲スル者デアリマス、併ナガラ其效ノ愈、大ナラムコトヲ希望スルモノデアリマス、第一分科會ノ主査ノ報告ニ依リマスト、大蔵省ノ部ニ付キマシテ財政上ノ問題ハ前キニ申シマシタル所ノ總會ニ於テ質問サレタコトヲ幾度カ繰返サレタ趣デアリマス、加之、歲入ニ付イテモ又ハ納稅期ノ繰下ニ付キマシテモ種々質問ガアッタ趣デアリマス、而シテ第一分科主査ノ報告ニ依リマスト、第一分科會ノ終ニ於テ一ノ希望即チ決議ヲシタ、其議ハ此決議案ハ豫算總會ノ決議ニナラムコトヲ希望スルト云フ趣デアリマス、是ニ序デニ申シテ置キマス、第一分科會ノミナラズシテ第二、第三、第五分科ニモ同様ナ希望ガアリマシタ、是ハアトデ申上グマス、第二分科ノ報告ス、是ニ序デニ申シテ置キマス、第一分科會ノミナラズシテ第二、第三、第五分科ニモ同様ナ希望ガアリマシタ、是ハアトデ申上グマス、第二分科ノ報告ニ於キマシテハ外務省ニ種々ノ質問ガアッタサウデゴザイマス、殊ニ支那在勤者ニ對シテノ俸給ノコト、若クハ執務方針ノコト、支那語ニ能ク習熟シタ者ヲ趣デアリマスガ、是ニハ例ノ地方官更迭ノコトニ付イテ質問モアッタ趣デアリマス、是ハ初メノ總會ニ出マシタ質問デアリマス、ソレカラ又高等警察ノコト、地方費戶數割等ニ付イテモアリマシタ趣デアリマス、ソレカラ文部ノ部

ニ於キマシテハ、雅樂ノコト、美術ノコト、小學教員等ノコトニ付キマシテモアリマシタ、其中ニ小學教員ノ肺病者ノ數ナドノ調べニ付キマシテモ、隨分細密ナ調べガ質問ニ依ッテ答ガ出テ居リマス、是ハ諸君御一覽ナサルト驚クベキコトモ此中ニアリマスカラ、御注意ヲ申上ゲテ置キマス、此報告ニハヤメマス、而シテ又第三分科會ノ文部省ノ部ニ於キマシテハ、教員ノコトニ付イテ希望質問ガ出マシタガ、是ハアトデ希望ノ所ニ一緒ニ申上ゲマス、文部省ニ於キマシテハ右ノ外、國家教育ノ方針ト法律トノ矛盾ト云フ問題ガ質問ニナツタサウデアリマス、之ニ對シマシテハ文部大臣司法大臣兩大臣モ同感デ、之ニ對シテハ何等カノ方法ヲ執ルト云フコトヲ申サレタト申スコトデアリマス、第四分科ニ於キマシテハ、是ハ陸海軍デアリマスガ、是ハ大シタ異ッタル質問モゴザイマセヌ趣デ、陸軍ニ於キマシテハ官業ヲ民業ニ引直サレルニ付イテハドウカト云フコトヤラ、藩地ニ在任スル者ノ加俸ノコトヤラ、委任經理ノコトヤラ、舊兵器ノ賣下等ガ重モナルモノ、ヤウニ思ハレマシタ、海軍ニ於キマシテハ、造船力、造兵術、軍用航空術、又ハ新艦、即チ六百萬圓ノ頭ヲ出シテ居リマスル新艦建造ノコトニ付イテノ質問モアリマシタサウデゴザイマス、第五分科ニ於キマシテ、即チ農商務省ノ方ニ於キマシテハ、漁業ノコト、ソレカラ巴奈馬博覽會ノコト、製鐵所ノコト、森林經營ノコト等ガ重モナルモノ、ヤウニ思ヒマス、茲ニ希望ガアリマシテ「トロール」取締ノ船ヲ増加スベシト云フ希望ガ出マシタ趣デアリマス、第二ノ希望ハ行政整理ノ實行ノ速カラムコトヲ希望スルト云フ希望デアツタサウデアリマス、遞信省ニ於キマシテハ海底電信、恩給、航路補助等ノ質問ガ重モナルモノ、ヤウニ承リマシタ、各分科ハ大概、祕密會ヲ澤山開カレマシタ趣デアリマス、是ハ重モニ外交若クハ兵事ノ祕密ニ係ルタメデアリマス、各分科ノ主査ノ報告ハ午前ヨリ午後ニ瓦リマシテ、昨日報告ヲ受ケマシタガ、是ハ餘ホド數時間ニ瓦ツタ報告デアリマスニ依ッテ、之ヲ悉ク茲ニ申上ゲルコトハ到底及バヌコトデアリマス、速記錄モ未ダ出來テ居ラヌ位デアリマス、右ノ如ク極簡單ニ申述ベマシテ大要必要ナコト、重要ナモノト思ヒマスガ、サリナガラ私が茲ニ報告シマスノニ必要ト思フコトニ若シ漏レガアリマシタナラバ、ドウカ各主査ニ於テ御繕ヒ下サレマシタナラバ、大ニ本員ノ満足スル所デアリマス、右五ツノ分科ノ報告ガ終リマシテ、再ビ一般ニ付イテノ質問トナリマシタ、丁度其時所得稅法中改正案、即チ先刻此議院デ通過シマシタ所ノ案ガ此本議場ニ

出タ趣デアリマシタニ依ッテ、所得稅法案中ノ財源ノコトニ付キマシテ、先刻申シマシタ所ノ衆議院デ修正サレタ所ノ大正二年年度ヨリ實行ニ付イテハ其財源ノコトガ此豫算ニ關係スルデハナイカ、斯様ナコトニナツテ種々質問ガ出マシタ、此質問ハ隨分ムヅカシイ質問デアリマシテ、豫算ノ訂正ヲスルノガ相當デアラウト云フヤウニモ思ハレル、兎モ角モ是ハ一時休憩ヲシテ篤ト考ヘタガ宜カラウト云フヤウナ説ガ出マシテ、ソレガ大多數ヲ得マシテ一時休憩ヲシマシタ、サウシテ再ビ委員會ハ繼續イタシマシテ討議ニ入りマシタ、討議ニ入リマシタ時分ニ、一議員ガ發議シテ、所得稅法案トノ關係上、豫算ノ決議ハ茲ニ保留シテ置クガ宜カラウ、併シ質問ハ餘日モ無イコトデアルカラ、今日終ラウト云フコトニ大多數ノ賛成ヲ得テ、昨日全會一致ヲ以テ質問ダケハ終ルト云フコトニシマシテ、各省順序ニ質問ニ這入リマシタ、其時分ニ又質問ガアリマシタ、ニツノ質問ガアリマシタ、其時分ハ文部省ニ於キマシテ文部大臣ガ或ル新聞紙ニ載ッテ居ル所ノ言説ハ甚ダ不都合デハナイカト云フコトニ付イテノ質問デアリマシタ、今一ツノ質問ハ農商務省ニ對シテハアリマスガ、例ノ工場法ノ法律ハ通ツテ居ルガ、一向今年ニ至ルマデモ實行ノヤウニ見エナイ、即チ其費用ヲ計算シテ無イ、豫算ニ其費用ガ計算シテ無イ、此質問ガアリマシタ、外ニハ此席ニ於テハ最早質問モゴザイマセヌデ決ヲ採ラズニ其儘昨日ハ散會ヲ致シマシタ、今日午後二時半ニ至ツテ再ビ開會ヲ致シマシタ、所得稅法中改正案ハ大正二年年度ヨリ實行サレルト云フコトニ付キマシテハ委員會ニ於テ結了サレマシタ後ニ是ハナリマシタ、昨日ハ此點ニ於テ大ナル疑ヒガアリマシタニ依ッテ豫算ノ決議ヲ見合セマシタガ、研究ノ結果、是ハ心配ハ無カラウ、無イ、法律ト豫算トノ關係ニ付イテハ昨日ハ疑ヒガアツタガ、最早疑ヒハ無イト云フコトニナリマシタ、ソレハ斯ノ如キ場合ニ於キマシテハ例年トモ甚ダ違フ所デアル、餘日モ無イ、又是ハ會期切迫ノミナラズ、四十二年ノ例ガアリマス、ソレハ砂糖消費稅ニ付イテノ先例モアリマス、併シ金高ニ於テハ少シ差ハアリマスケレドモ、斯様ナ殆ド同様ナ例ガアル、ソレデ是ハ政府ノ歲入ノ減ルコトデアルカラ、ソレハ構ハヌト云フコトニナツテ、即チ豫算ハ直チニ決了イタシマシタ、終ニニツノ希望トニツノ決議ガアリマシタ、一つハ國勢調査、ソレガ疾クヨリ行ハレルコトニナツテ居ルノニ、經費ノタメカ年々延期シテ居ルガ、是ハ必要ナコトデアルカラ、財政又ハ行政整理ト伴ウテ必ズ之ヲ實行ニナリタイト云フ希望ヲ豫算總會ノ希望トシテ希望イタシ

マシタノデ、モウ一ツノ希望ハ教育ノコトニ付イテアリマス、少シ長ウアリマスルガ、前キニ文部省ノ部デ御報告申上ゲマシタ所ノコトデアリマス、其希望ハ書取ツテアリマスカラ之ヲ朗讀イタシマス

市町村費ノ整理ハ國及府縣ノ財政整理ト共ニ目下ノ一大急務ニ屬シ就中市町村教育費ノ整理ハ極メテ緊切ナリトス政府ハ速ニ其實蹟ヲ舉ケンコトヲ望ム

市町村教育費ノ整理ニ付テハ政府ハ速ニ左ノ件々ヲ實行ゼンコトヲ望ム

一、現行ノ制度ニ於ケル小學ノ編制ハ實際ノ民力ニ適セサルモノアルヲ以

テ將來ハ二部教授ノ編制、二教育三學級ノ編制等ヲ獎勵スヘキコト

二、第一項ノ施設ニ適應セシムヘキ目的ヲ以テ現行ノ規定ニ改正ヲ加フヘ

キコト

三、第一項ニ依リ編制ヲ改ムル學校ニ於テ使用スヘキ教科書ヲ編纂發行ス

ルコト

四、第一項ニ依リ編制ヲ改ムル學校ノ則トルヘキ教科目組合セ即チ教授時

間上ノ標準ヲ調製頒布スルコト

五、小學校ノ設備上不急ナルモノヲ廢除スルコト

是ガ其要目アリマス、之ニ付イテ委シイコトハ多分、文部省ノ部ノ速記ニ

載ツテ居ルコト、考ヘマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス、是ハ餘ホド今日ノ教育

制度ニ於キマシテハ必要ナコトデアラウト本員等モ考ヘマス、五萬何千トカ

云フ小學教員ノ不足ヲ感ジテ居ル際ニ之ヲ補フノニハ最モ適當ナ説ノヤウニ

思ヒマシテ、又委員會ニ於キマシテモ一同委員總會ノ意見トシテ、茲ニ希望

トシテ陳述スルコトニナリマシタ、先刻申上ゲマシタ通り本年ノ豫算ハ奇妙

ナモノデアリマスガ、之ヲ可決スルニ付キマシテハ平常トモ違フニ依ッテ一ツ

ノ動議、此動議ノ趣意ニ依ツテ豫算委員會ハ豫算案ヲ賛成スル、斯様ナコトニ

ナリマシタ、即チ動議デアリマス、決議案ミタヤウナモノデアリマス、ソレヲ又朗讀イタシマス

大正二年度ノ豫算ヲ審査スルニ次年度以降國防ノ充實其他緊切ナル施設ノ爲メ巨額ノ支出ヲ要スルモノアルハシ又減稅ノ爲メ歲入ノ減少スルモノア

ラントス行政及ヒ財政ノ整理ヲ斷行スルハ實ニ焦眉ノ急務ニ屬ス委員會ハ

山本内閣總理大臣カ二年度豫算ノ實施ニ際シ嚴ニ政費ノ節約ヲ行ヒ以テ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスヘシトノ言明ヲ諒シ必ス其實蹟ヲ舉ケラルヘキヲ期シ

之ニ協賛ヲ與フルモノトス

此理由ヲ以テ、本豫算ハ一字一句ノ修正モ無ク、豫算委員ニ於テハ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、此段御報告ヲ申上ゲマス、序デニ申上ゲマスガ、他ニ先刻申上ゲマシタル如ク尙ホ七案アリマス、是ハ追加豫算デアリマス、大正元年度ニ係ルモノ四案、大正二年度ニ係ルモノ三案、合セテ七案、是モ委員會ニ於キマシテ審査決了イタシマシテ、何等異議ハ無イ、是レデ可トスルコトニ決定ヲ致シマシタ、此段御報告ヲ申シマス

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ於テ御異存ガアラセラレマセヌケレバ、唯

今會我委員長ノ報告イタシマシタ豫算案、並ニ追加豫算案全部、束于テ議題ニ致シマス

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 全部、豫算委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

總員 起立

○議長(公爵德川家達君) 全會一致ト認メマス

○子爵曾我祐準君 此際、營業稅法中改正法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ退席ヲ要求イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ營業稅法中改正法律案ノ特別委員會ハノ退席ノ要求ハ許シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○男爵村上敬次郎君 此際、日程ヲ變更セラレマシテ、明治四十四年度豫備金支出ノ件外三件ノ會議ヲ開キタウゴザイマス

○小牧昌業君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 村上男爵ノ議事日程變更ノ動議ニ御異存ゴザイマ

セヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 明治四十四年度豫備金支出ノ件、明治四十四年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、明治四十四年度特別會計豫備金

支出ノ件、明治四十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件承諾ヲ求
ムルノ件、衆議院送付、會議、委員長報告

明治四十四年度豫備金支出ノ件

明治四十四年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治四十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正二年三月二十六日

右特別委員長

男爵村上敬次郎

貴族院議長公爵德川家達殿
〔男爵村上敬次郎君演壇ニ登ル〕

○男爵村上敬次郎君 唯今議題ニ上リマシタ所ノ明治四十四年度豫備金支出
外三件ニ關シマスル委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、此案ハ昨日本
院ニ回リマシテ、今朝委員會ヲ開キマシテゴザイマス、其開會ニ際シマシテ、
大藏省ノ政府委員カラ、本年ハ提出ガ誠ニ遲レタケレドモ、今年ハ豫算案ノ
提出モ非常ニ遲レタト云フ已ムヲ得ナイ事情ガアルカラシテ、其事情ヲ宜シ
ク諒セラレムコトヲ望ムト云フ挨拶ガアリマシタ、ソレヨリ各事項ニ付イテ
政府委員ノ説明ヲ求メマシタ、又委員諸君ヨリモソレヽ質問ガアリ、應答ガ
ゴザイマシタ、其應答ノ事項ハ今日ノ場合デアリマスルカラ省略イタシマス、
結局委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ本院ニ於テ承諾ヲ與フベキモノナ
リト決シマシテゴザイマス、此段簡略ナガラ御報告イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 四案トモ承諾ヲ與フベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒ
マス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、此際議事ノ都合ニ依リマシテ
暫時休憩ヲ致シマス、併シ先刻モ申上ゲマシタ通り、議場へ再び御集リヲ願
ヒマスコトガゴザイマスカラ、左様御承知置ヲ願ヒマス

午後五時二十九分休憩

午後七時九分開會

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス
〔東久世書記官朗讀〕

本日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

治安警察法中改正法律案

酒造稅法中改正法律案(衆第二十一號)

質屋取締法中改正法律案

○議長(公爵德川家達君) 先刻ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、午後開會ノ
始メ竝ニ唯今書記官ヲシテ御報告ヲ致サセマシタ衆議院ヨリ送付相成リマシ
タ各案ノ第一讀會ヲ此際開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 登錄稅法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

登錄稅法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正二年三月二十六日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

登錄稅法中左ノ通改正ス

第十九條ノ二 登記所ニ於テ登記申請者ノ申告シタル課稅標準價格ヲ不相
當ト認ムル場合ニハ其ノ相當ト認ムル課稅標準價格ヲ登記申請者ニ通告
シ若登記申請者之ニ異議ヲ申立ツルトキハ一名乃至三名ノ鑑定人ヲ選定
シ其ノ評價ヲ以テ課稅標準價格ト爲ス

鑑定人ノ評價一致セナルトキハ其ノ平均ヲ以テ之ヲ定ム

登記所又ハ登記申請者ニ於テ右評價ニ異議アルトキハ管轄地方裁判所ニ
抗告ヲ爲スコトヲ得

登記申請者ニ於テ其ノ申告稅額ト登記所ノ認定稅額トノ差ヲ現金又ハ印
紙ヲ以テ供託シタルトキハ登記所ハ直チニ登記手續ヲ爲スヘシ
前項ノ供託アリタル場合ニ於テ登記所ノ認定稅額ト終局ノ決定稅額ト合
致スルトキハ登記所ハ供託物ヲ以テ登錄稅ニ充當ス若其ノ間ニ餘剰アリ

第二 官吏公吏在職中取扱ヒタル事件

第三 仲裁手續ニ依リ仲裁人ト爲リテ取扱ヒタル事件

第三章 辯護士會

第九條 各地方裁判所管轄區域毎ニ辯護士會ヲ置ク

司法大臣ハ土地ノ狀況ニ依リ數箇ノ地方裁判所管轄區域ヲ合シテ一組ノ辯護士會ヲ設ケシムルコトヲ得

第十條 辯護士會ノ目的左ノ如シ

一 司法上又ハ辯護士ノ利害ニ關スル事項ノ處理

二 法律命令又ハ辯護士會會則ニ規定シタル事項ノ處理

第十一條 辯護士會ハ之ヲ法人トシ司法大臣之ヲ監督ス

第十二條 辯護士會ニ會長及副會長ヲ置ク

會長又ハ副會長ハ其ノ會ヲ代表ス

第十三條 辯護士ハ辯護士會ニ加入シテ其ノ會員名簿ニ登録セラルルコトヲ要ス

第十四條 辯護士會ハ左ニ掲タル事項ヲ定メ司法大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第一 會長副會長懲戒委員下調委員其ノ他役員ノ選舉及其ノ職務

第二 入會退會及登錄ニ關スル規定

第三 總會又ハ役員會ノ議事ニ關スル規定

第四 辯護士ノ風紀及懲戒ニ關スル規定

第五 報酬ニ關スル規定

第六 財產ノ管理及出納其ノ他會務ノ處理ニ必要ナル規定

第十五條 所屬辯護士會以外ノ地ニ事務所ヲ設クル辯護士ハ其ノ地辯護士會ノ會則ヲ遵守スヘシ

第四章 懲戒及罰則

第十六條 辯護士ニシテ本法又ハ辯護士會會則ニ違反ノ處爲アルトキハ其ノ所屬辯護士會ノ懲戒裁判ニ附ス

第十七條 辯護士ニ對シ懲戒事犯アリト認ムル者ハ辯護士會ニ申告スルコトヲ得

第十八條 辯護士會長前條ノ申告ヲ受ケタルトキハ直ニ下調委員會ニ附スヘシ但シ下調委員會ノ組織及手續ハ會則ノ規定ニ依ル

第十九條 下調委員會ノ決定ハ會長ニ報告スヘシ

下調委員會ニ於テ懲戒裁判ニ附スヘキモノト決定シタルトキハ會長ハ直ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十條 懲戒事件ニ付テハ各辯護士會ニ五名以上ノ懲戒委員ヲ設ケ之カ

裁判ヲ爲ス

所屬辯護士會ニ於テ定數ノ懲戒委員ヲ選定スル能ハサル場合ニハ司法大臣ハ他ノ辯護士會員中ヨリ之ヲ補充ス

第二十一條 懲戒裁判ニ付テハ判事懲戒法及民事訴訟法第三十二條第三十三條第三十四條第三十五條第三十六條第七百九十四條第七百九十五條第七百九十六條第七百九十八條第七百九十九條第八百條ノ規定ヲ準用ス

第二十二條 懲戒罰ハ左ノ四種トス

第一 講責

第二 千圓以下ノ過料

第三 五年以下ノ停職

第四 除名

前項第二號ノ過料ハ國庫ノ收入トス

第二十三條 所屬辯護士會ノ懲戒裁決ニ不服アル者ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ七日内ニ覆審ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ裁判ヲ爲シタル辯護士會ニ申立書ヲ提出スヘシ

司法大臣ハ第一項ノ期間内ニ覆審ヲ求ムルコトヲ得

第二十四條 覆審裁判ハ大審院判事及辯護士ヲ以テ組織シタル委員會ニ於テ之ヲ爲ス

委員ノ數ハ大審院判事四名辯護士三名トシ司法大臣之ヲ任命ス但シ豫備委員ヲ置クトヲ得

第二十五條 覆審ニ關スル裁判手續ハ司法大臣之ヲ定ム

第二十六條 辯護士ニ非シテ法律ニ關スル事務ヲ取扱フコトヲ業トスル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條 本法ハ大正三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十八條 現在ノ各辯護士會ハ本法ニ依ル辯護士會ト看做ス

ノ辯護士會ニ加入シ登録セラレタルモノト看做ス

第三十條 本法施行ノ際在任セル辯護士會役員ハ本法ニ依ル役員ノ選任ニ至ル迄本法ニ依ル役員ト看做ス

第三十一條 本法施行ノ際開始セラレタル懲戒手續ハ明治二十六年法律第七號ニ依ル

第三十二條 本法施行ニ必要ナル事項ハ司法大臣之ヲ定ム

第三十三條 明治二十六年法律第七號ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔仙石書記官朗讀〕

辯護士法改正法律案特別委員

伯爵松平直之君 子爵黒田和志君 子爵永井尙敏君
子爵前田利定君 渡正元君 奥山政敬君
高木豊三君 児玉淳一郎君 江原芳平君

○議長(公爵徳川家達君) 日本勸業銀行法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

日本勸業銀行法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正二年三月二十六日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

第十四條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

鐵道財團、輕便鐵道財團及軌道財團ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ不動產ト看做ス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

日本勸業銀行法中改正法律案特別委員

子爵鳥居忠文君 子爵冷泉爲勇君 子爵西大路吉光君
男爵北大路實信君 石井省一郎君 藤田四郎君
仁尾惟茂君 鎌田勝太郎君 佐藤助九郎君

〔仙石書記官朗讀〕

○議長(公爵徳川家達君) 治安警察法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

治安警察法中改正法律案

貴族院議長公爵徳川家達殿

治安警察法中左ノ通改正ス

第二條第四項中「選舉權ヲ行フヘキ者及被選舉權ヲ有スル者ニ限リ」ヲ「公衆ヲニ改ム

第四條中「屋外ニ於テ公衆ヲ會同シ」ヲ「第二條ノ集會ニ非スシテ屋外ニ於テ公衆ヲ會同シ」ニ、「十二時間以前ニ」ヲ「六時間以前ニ」ニ改ム

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔仙石書記官朗讀〕

治安警察法中改正法律案特別委員

子爵五辻治仲君 小野田元熙君 男爵楠木正敏君
男爵清水資治君 渡正元君 關清英君
阪本彰之助君 植竹三右衛門君 木本源吉君

○議長(公爵徳川家達君) 酒造稅法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、酒造稅法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

酒造稅法中改正法律案(衆第二十一號)

右本院提出案及送付候也

大正二年三月二十六日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

酒造稅法中左ノ通改正ス

第六條中「三月」ヲ「五月」ニ改ム

附則

本法ハ大正三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

酒造稅法中改正法律案(衆第二十二號)

右本院提出案及送付候也

大正二年三月二十六日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長大岡育造

酒造稅法中左ノ通改正ス

第八條第二項ヲ左ノ如ク改ム

酒類ノ造石數ヲ查定スルハ容器ノ容量ニ依ル但シ清酒ニ限リ命令ノ定ム
ル所ニ依リ查定石數百分ノ二以内ノ滓引減量及查定石數百分ノ二以内ノ
貯藏減量ヲ控除スルコトヲ得

附則

本法ハ大正三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵德川家達君) 此委員ハ登錄稅法中改正法律案ノ委員ニ付託シテ
御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 質屋取締法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

質屋取締法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正二年三月二十六日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

質屋取締法中左ノ通改正ス
第三條 質屋ハ質物ニ付不正ノ疑アルトキハ直ニ其ノ旨ヲ警察官ニ申告ス
ヘシ

第五條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ質置主ニ於テ之ヲ必要トナサルトキハ交付セサルコトヲ得
○議長(公爵德川家達君) 是ハ治安警察法中改正法律案ノ委員ニ付託シテ御
異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 水先法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、
水先法中改正法律案 委員長報告

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正二年三月二十五日

右特別委員長

伯爵柳原 義光

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 水先法中改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ簡單ニ御
報道申上ゲマス、此委員會ハ二度開キマシテ、初メハ一昨日ノ午後、議事散會
後ニ開キマシタ、其時正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ後、質問ニ移リマシタ、
一昨日ハソレデ止メテ置キマシテ、更ニ昨日ノ午後、委員會ヲ開キマシタ、其
時ニハ政府委員ノ外ニモ遞信大臣ノ出席ヲ請ヒマシテ此案ニ對スル遞信大臣
ノ意見ヲモ尋ねタノデゴザイマス、又海軍次官ノ出席ヲモ請ヒマシテ、海軍當
局者トシテ此案ニ對スル意見ヲ尋ねタノデゴザイマス、而シテ贊否各々ノ説ガ
ゴザイマシテ、贊否各三名ゾツデ同數、デアッタノデゴザリマス、委員長タル私ガ
之ニハ反對デゴザイマスルガ故ニ一票ノ差ヲ以テ此案ハ否決スベキモノトナ
ツタノデゴザリマス、極メテ此案ノ内容ハ簡単ナモノデゴザイマシテ二ツノ要
目ガアルノデゴザイマス、其内一つハ第三條ノ第一號ニ水先人タル年齢ガ滿
二十五歳ニ達セザル者ハ水先人タルコトヲ得ズト云フノガ現行法ノ精神ナノ
デアリマスルガ、……イヤ、現行法ト申シタノハ間違ヒマシタ、二十三年以上
ニ達スル者ハ水先人タルコトヲ得ルノデゴザイマスガ、此改正案ニ依リマス
ルト、滿二十五歳ニ達セザル者ハ水先人タルコトヲ得ザルヤウニシヤウト云
フ改正デゴザイマスルガ、此現行法ニハ二十三歳トシテゴザイマスルケレド
モ、事實ハ二十三歳デ水先人ニナッテ居ル者ハ一人モ無イノダサウデゴザイマ
シテ、是ハ此改正案ノ通リ二十五歳ニナリマシタ所デ勿論苦シクナイ、故ニ此
デゴザイマス、唯此十八條ノ二項ニ此改正法ニ依リマスルト主務大臣ハ何時

ニテモ水先人ノ體格検査ヲ致シマシテ、サウシテ其業務ヲ營ムノニ不適當ナリト認メマスル際ニハ免狀ノ停止若シクハ禁止スルコトヲ得ルヤウニシタイト云フノガ此改正案ノ精神ナノデゴザイマス、其代リ現行法デハ六十歳以上

ノ者ハ水先人タル所ノ資格ヲ失フ規定ニナツテ居リマスルノヲ、年齢ノ制限ヲ撤廢スル代リニ、何時タリト雖モ水先人ノ體格検査ヲ行ッテ、サウシテ不適當ナリト認ムル者ハ水先人タルコトヲ止メサセ得ル代リニ、年齢ノ六十歳以上ト云

フ制限ヲ取リタイト云フノガ此案ノ精神ナノデゴザイマス、委員ノ内デモ此案ニ贊成セラル、人ノ御説ハ水先人ナル者ハ元來經驗ヲ貴ブノデアツテ、丁度

六十歳前後ノ年齢ニ達シマスルト、水先人トシテ極メテ適當ナル經驗ヲ得ル

ノデアルカラシテ、此六十歳ニ達シタルガ爲ニ水先人タルコトヲ止メサセル

ト云フコトハ殊ニ不條理デアル、若シ身體ガ老衰シタ者デアツタナラバ本人モ

止メルダラウシ、又本人ガ止メナクテモ此改正案ニ依ッテ何時タリト雖モ體

格検査ヲシテ不適當ナル者ハ水先人タルコトヲ止メサセ得ルノデアルカラト

云フノガ此改正案ニ贊成スル委員ノ重モナル說デアツタノデゴザイマス、而シ

テ之ニ反對スル委員ノ説ノ重モナルモノハ人間ハ六十歳ニモナレバ視力モ聽

力モ段々衰ヘルカラシテ體格ガ段々老衰ノ域ニナツタ者ヲ殊ニ航海業者ニ最

モ必要デアル所ノ水先人ニ當テルト云フコトハ誠ニ危險ナ譯デアルカラシ

テ、先ヅ大概ノ人間ハ六十歳ニ達スレバ老衰ノ域ニ達スルカラシテ六十歳

ト云フ年限ヲ以テ水先人タル資格ノ無イヤウニスルガ宜イト云フノガ反對ノ

重ナル說デアリマシテ、海軍次官モ矢張リ此年齡ノ制限說ヲ執ツテ居ラレテ、

六十歳クラキニナツテ老衰ノ者ハ段々新陳代謝シテ新シイ者ガ代ハル方ガ宜

イト云フ海軍次官ノ說デアリマシタ、是ハ單リ水先案内ニ限ラズ總テ老衰者

ハ新陳代謝スルガ宜シトイ思ヒマスガ、殊ニ此水先人ノ如キハ年齡ニ制限ヲ

置イテ新陳代謝スルコトガ最モ必要ト私ハ信ズルノデゴザイマス、故ニ此案ハ

ハ委員會ニ於テハ否決ヲシタノデアリマスガ、何卒満場ノ諸君ニ於テモ否決

ニ御賛同アラムコトヲ切望イタシマス
○議長(公爵徳川家達君) 採決イタシマス、本案第二讀會ヲ開クベシトスル
諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 無シ

○議長(公爵徳川家達君) 起立者ハ無イト認メマス、本案ハ否決セラレマシタ
○公爵徳川慶久君 私ハ茲ニ日程變更ノ動議ヲ提出イタシタノト思ヒマス、

即チ裁判所構成法中改正法律案並ニ辯護士法中改正法律案、此二案ヲ茲ニ掲
ゲラレタイト思ヒマス

○松岡康毅君 贊成

○奥山政敬君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 德川公爵ノ議事日程變更ノ動議ニ御異存ハゴザイ
マセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 裁判所構成法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正二年三月二十六日

右特別委員長

公爵徳川 慶久

貴族院議長公爵徳川家達殿

辯護士法中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正二年三月二十六日

右特別委員長

公爵徳川 慶久

〔公爵徳川慶久君演壇ニ登ル〕

○公爵徳川慶久君 是ヨリ裁判所構成法中改正法律案並ニ辯護士法中改正法律案ノ二案ヲ一括シテ茲ニ御報告ニ及ビマス、是ハ即チ試験制度ノ改正ト云フコトノ案、デゴザイマス、委員會ハ審議ヲ重キマシテ、本日ノ正午ニ於テ初メラ之ヲ決スルニ至ツタノデアリマス、先づ此案ノ大體ノ趣旨ガドコニアルカト云フコトヲ一言申上ゲマスレバ、判檢事ニナラムトスル者ハ如何ナル學校ノ出身者ヲ問ハズ此試験ヲ受ケル、サウシテ其今マデ競争試験デアツタノヲ此

場合、資格認定試験ニ直サウ、斯ウ云フノガ一ツノ要點デアリマス、第二ノ要點ハ即チ辯護士試験ニハ如何ナル學校ノ出身者ヲ問ハズ、之ヲ受ケナケレバ辯護士トナルコトガ出來ヌヤウニスルト云フガ第二ノ要點デアリマス、ソコデ委員會ノ經過ヲ御報告スルニ先ダチマシテ先ヅ此案ニ對スル政府ノ意見ハドウデアルカト云フ點ヲ一應茲ニ申上ゲテ置カウト思ヒマス、此委員會ニハ松田司法大臣並ニ奥田文部大臣ガ御出席ニナリマシテ、政府ノ此案ニ對スル意見ヲ略、大體同ジャウナ意味ニ於テ御辯明ニナッタノデアリマス、其點ヲ申上ゲマスレバ、政府ニ於テモ現行ノ試験制度ト云フモノハ不完全デアツテ、是ハ早晚改正シナケレバナラヌト云フコトハ政府當局ニ於テモ認メテ居ルノデアル、而シテ此現今區々別々ニ分レテ居ル試験制度ト云フモノハ成ルベク一ツニ統一シテ仕舞フト云フコトガ最モ宜イト考ヘテ居ル、故ニ此議會ガ終ツタラバ、政府ハ財政並ニ行政ノ整理ニ著手スルト同時ニ、此試験制度ノ統一ト云フコトニ向ツテモ直チニ調査ヲ始メテ、次ノ議會ニ於テハ完全ナル最良イ案ヲ具體的ノ案トシテ提出シタイト云フ希望ヲ有ツテ居ラレマス、ソレ故ニ此案ニ對シテハ唯今ノ場合ニハ成ルベク區々ニ其改正ヲセズニ、之ヲ一年待シテ來年ノ議會ニ於テ之ガ解決ヲ望ミタイト云フノガ兩大臣ノ一致シタ意見デゴザイマシタ、ソコニ於テ委員會ハ此內容ニ就イテモ勿論種々審査ヲ遂ゲタノデアリマスケレドモ、其論點トナッタノハドコカト申シマスト、政府ノ言ニ信賴シテ之ヲ一年待ツテ、サウシテモット完全ナ試験制度ヲ得シテ一年待ツテ、サウシテモ能ク熟議ヲ遂ゲマシテ、法律ノ點ニ於テ改括シテ一年待ツテ來年ノ議會ニ於テハ到底熟議ガ調フ譯ニ參リマセヌデゴザイマスター、因ツテ此短期ノ會期中ニ於テハ到底熟議ガ調フ譯ニ參リマセヌデゴザイマスター、因ツテ本期議會ヲ終リマシタル後ニ於テ諸般ノ制度ヲ整理イタシマスルト同様リデゴザイマス、今茲ニ於テ此法律案ガ決定イタサルレバ政府ノ調査ヲ致ス所モ即チ法律案ニ基イテ致サナケレバナラヌト云フコトニ至ルデアラウト、コトガ宜イカ、或ハ直チニ茲ニ可否ヲ決シテ仕舞フカト云フコトガ先ヅ論點デアツタノデアリマス、ソコデ原案ニ反対スル所ノ人ノ論點ヲ申シマスト、唯今政府ノ言明トシテ私ガ茲ニ申シマス通り、成ルベク試験制度ト云フモノヲ統一シテ一ツノ良イモノニシタイト云フ、此政府ノ言ニ信賴シ此政府ノ明言ヲ質トシテ、來年ノ議會マデ之ヲ待ツテ、サウシテ完全ナモノヲ作ル方ガ宜イダラウ、サウシテ此場合區々ノ改正ト云フコトハシナイ方ガ宜カラウ、是ガ先ヅ大體其反対スル人ノ意見デアリマス、而シテ此法案ノ内容ノ善イ惡ルオト云フコトハ先ヅ暫ク間ハナイノデゴザイマス、ソコデ此案ニ賛成ヲ致シマス所ノ意見ハ如何ニモ政府ノ言フ所ニ信賴スルト云フコトハ宜イ、併ナガラ此改正ガ今度政府ガ詰リ統一シタ制度ヲ作ルト云フコトノ妨ニナルヤ否ヤ、必シモ妨ニハナラナイデアラウ、故ニ此場合、統一ノ一部分ヲ成ス所ノ本案ヲ茲デ通シテ置イタナラバ、實施シテ置イタナラバ、ソレデ差支ナイデ

ハナイカ、斯ウ云フノガ先ヅ大體贊成論者ノ意見デアリマス、之ヲ要スルノニ本案ハ更ニ良好ナル統一シタ試験制度ヲ作ルト云フ政府ノ明言ヲ信賴シテ延期ノ意味ニ於テ大多數ヲ以テ是ハ否決サレタノデアリマス、以上委員會ノ大要デゴザリマス、御報告ニ及ビマス

〔國務大臣松田正久君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(松田正久君) 唯今、徳川委員長ヨリシテ裁判所構成法中改正案及辯護士法中ノ改正案ニ付イテ委員會ノ結果ヲ御報告ニナリマシタ、此場合ニ於テ私ハ茲ニ一言申上ゲタイノデアリマス、即チ徳川委員長ノ述ベラレマシタル如ク、政府ニ於キマシテモ現行ノ試験法ノ區々ニシテ其不完全ナルコトハ認メテ居ル所デゴザイマスル、故ニ今期ノ帝國議會開會コノカタ關係ニシタル如ク、政府ニ於キマシテモ現行ノ試験法ノ區々ニシテ其不完全ナル各所長トモ數次協議ヲ遂ゲタルコトモゴザイマスル、然ルニ此試験制度ニ付シタルハ事頗ル廣汎ニ涉リマシテ、啻ニ一局部ノミニ止ラヌノデアリマスル、因ツテ此短期ノ會期中ニ於テハ到底熟議ガ調フ譯ニ參リマセヌデゴザイマスター、因ツテ本期議會ヲ終リマシタル後ニ於テ諸般ノ制度ヲ整理イタシマスルト同様ニ、此試験制度ニ付キマシテモ能ク熟議ヲ遂ゲマシテ、法律ノ點ニ於テ改正スペキコトガアリマスレバ、其法律案ヲ拝ヘマシテ次期ノ議會ニ提出イタス積リデゴザイマス、今茲ニ於テ此法律案ガ決定イタサルレバ政府ノ調査ヲ致ス所モ即チ法律案ニ基イテ致サナケレバナラヌト云フコトニ至ルデアラウト思ヒマス、然ラバ其調査ニ於テモ甚ダ窮屈ヲ感ズル次第デゴザイマスカラ、願ハクハ次期ノ議會ヲ待ツテ帝國議會ニ提出ヲ致シタイト云フ考デゴザイマスカラ、ドウゾ委員長ノ報告ノ通リ延期ノ意味ヲ以テ否決イタサレムコトヲ希望イタス次第デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ御發言モ無イト認メマスカラ、唯今徳川委員長ノ報告セラレマシタ兩案ヲ一括シテ採決イタシテ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

本院規則第百八條ニ據リマシテ本案ノ二讀會ヲ開クベシトスル諸君ハ白色票ヲ、二讀會ヲ開クベカラズトスル諸君ハ青色票ヲ、投票函ニ御投入ヲ請ヒマス、例ニ依リマシテ書記官ヲシテ御席ヘ戴キニ出シマスルカラ、御渡シヲ請ヒマス

〔書記官投票ヲ集ム〕

○議長（公爵徳川家達君） 御投票漏レハゴザイマセヌカ、……投票漏レ無イト
ト認メマス、是ヨリ開票イタシマス

〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵徳川家達君) 記名投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、總投票數二百、白色票ヲ投シタル者、即チ本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル者三十三、青色票ヲ投シタル者、即チ第二讀會ヲ開カザルトスル者百六十七、故ニ本案ハ否決セラレマシタ

參照

賛成者氏名	公爵徳川 慶久君	伯爵徳川 達孝君	伯爵吉井 幸藏君
子爵徳川 厚君	伯爵松浦	伯爵柳原 義光君	伯爵柳澤 保惠君
子爵徳川 誠一郎君	伯爵村鐵太郎君	伯爵川村 鐵太郎君	伯爵島津 忠麿君
子爵鍋島 直彬君	子爵鍋島 直彬君	田島竹之助君	田島竹之助君
子爵徳川 厚君	植竹三右衛門君	依田仙右衛門君	木村誓太郎君
佐々田 戒君	佐藤友右衛門君	佐藤源藏君	佐藤源藏君
森田 庄兵衛君	山下喜兵衛君	土居通博君	土居通博君
桑田 熊藏君	矢島榮助君	佐藤助九郎君	佐藤助九郎君
八田 德三郎君	伊藤由太郎君	木本源吉君	木本源吉君
福島文右衛門君	堀正一君	鈴木周三郎君	鈴木周三郎君
反対者氏名	侯爵黒田 長成君	伯爵正親町 實正君	伯爵正親町 實正君
伯爵大原 重朝君	伯爵萬里小路通房君	伯爵清棲家教君	伯爵清棲家教君
子爵伏原 宣足君	子爵堤功長君	子爵加藤泰秋君	子爵加藤泰秋君
子爵裏松 良光君	子爵岡部長職君	子爵仙石政固君	子爵仙石政固君
子爵藤井 行徳君	子爵唐橋在正君	子爵一柳末徳君	子爵一柳末徳君
子爵大宮 以季君	子爵井伊直安君	子爵山口弘達君	子爵山口弘達君
子爵大田原 一清君	子爵牧野貞寧君	子爵鳥居忠文君	子爵鳥居忠文君
子爵京極 高徳君	子爵黒田和志君	子爵本多實方君	子爵本多實方君
子爵實吉 安純君	子爵勘解由小路資承君	子爵本多忠敬君	子爵本多忠敬君

石井省一郎君	谷森眞男君	中島永元君
湯地定基君	富田鐵之助君	馬屋原彰君
古市公威君	奥山政敬君	富井政章君
岡田良平君	關清英君	石黒五十二君
山田春三君	千頭清臣君	仁尾惟茂君
石渡敏一君	押川則吉君	加太邦憲君
若規禮次郎君	福永吉之助君	阪本鉄之助君
杉田定一君	馬屋原二郎君	木場貞長君
室田義文君	安樂兼道君	磯邊包義君
下條正雄君	安立綱之君	高橋新吉君
岩村兼善君	細谷巖太郎君	本間金之助君
江原芳平君	中村治兵衛君	堀内半三郎君
田中源太郎君	武石橋治君	廣瀬満正君
松原芳太郎君	竹村與右衛門君	美馬儀一郎君
尼崎伊三郎君	由雄元太郎君	
〔伯爵柳原義光君發言ノ許可ヲ求ム〕		
○議長(公爵德川家達君) 水道條例中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ 續		
○伯爵柳原義光君 此際日程ヲ追加セラレテ水道條例中改正法律案ノ委員會 ノ結果ヲ御報道イタシタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマス、御宣告ニナツ タト心得テ宜シウゴザイマスカ		
○議長(公爵德川家達君) 唯今宣告イタシマシタノハ議長ノ誤デゴザイマシ タ		
○伯爵柳原義光君 登壇イタシテ宜シウゴザイマスカ		
○議長(公爵德川家達君) 未ダ賛成者ヲ得マセヌカラ動議ト相成リマセヌ タ		
○伯爵大原重朝君 賛成		
〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕		
○議長(公爵德川家達君) 柳原伯爵ノ議事日程變更ノ動議ニ御異議ハゴザイ マセヌカ		
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕		

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 水道條例中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ
續、委員長報告、特別委員長柳原伯爵

水道條例中改正法律案

大正二年三月二十六日

右特別委員長

伯爵柳原義光

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 御報告ヲ申上グマス、此改正法律案ハ本月十六日ニ本議
場ニ於テ委員ニ付託ニ相成リマシタル案デアリマス、然ルニ首席者タル御方
ガ委員會ヲ御開キニ相成ラナカツタ爲ニ、漸ク昨日初メテ委員會ヲ開イタノデ
ゴザイマス、私ガ委員長ニ不肖ナガラナリマシテ、今日初メテ一回委員會ヲ
開キマシタ、委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ此案ヲ可決シタノデアリマス、
會期切迫ノ今日ニ當リマシテ、此案ノ内容ヲ喋々シク述ベマセヌデゴザイマ
スガ、政府委員ニ質問イタシマシタ所、政府委員モ全然此案ニハ賛成ヲ表セ
ラレタノデアリマス、ソコデ私ガ政府委員ニ向ヒマシテ、然ラバ寧ロ是ハ政
府提出案ノ形式ヲ以テ出サレテモ宜カリサウニ思ハレルガ、何故ニ政府案ト
シテ御提出ニナラナカッタノデアルカト云フコトマデ尋ねタノデアリマス、政
府委員曰ク、サウシテモ宜イノデアッタガ、幸ニ衆議院カラ此案ガ提出ニナツ
ルガ故ニ、此案ニハ賛成ヲ表シタ、斯ウ云フコトデアリマシタノデアリマス
ルカラシテ、恰モ此案ハ政府ノ殆ド希望シテ居ル所ト同一ノ案ナノデアリマ
ス、案ノ内容ニ付イテハ私カラ申述ベマセヌカラ、若シ御質問等ガゴザイマ
シタラ、政府委員ニ御質問アラムコトヲ希望イタシマス、要スルニ委員會ハ
全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタカラ、此段御報道イタシテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス
ル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵柳原義光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵大原重朝君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、……委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵柳原義光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○伯爵大原重朝君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵柳原義光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○伯爵大原重朝君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、……第二讀會ノ決議

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ動議ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕

貴族院規則第六十五條ニ依リ提出候也

大正二年三月二十五日

發議者

伯爵萬里小路通房

伯爵柳澤保惠

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵柳原義光君 直チニ第一讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第一讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第一讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第一讀會ヲ開キマス、……第一讀會ノ決議

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

貴族院議長公爵德川家達殿 外七十一名

貴族院規則第二十八條中第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 豊算委員 六十三人

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 本案提出ノ趣旨ヲ説明イタシタイト考ヘマス

○議長(公爵德川家達君) 登壇ヲ煩ハシマス

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 此動議ハ極メテ簡単ナモノデゴザイマシテ、豫算委員ノ數ヲ九名増加イタシマス案デゴザイマス、御承知ノ如クニ從來、豫算委員ハ四十五名デゴザイマシタ、六年以前ニ改マリマシテ現今ノ五十四人トナリマシタ、之ヲ尙ホ九人増シタイト云フノデゴザイマス、既ニ前年ニ於キマシテモ此豫算委員ノ數ノ増シマシタノハ、豫算ノ審議ニ於キマシテ段々條項モ殖エ、又豫算モ龙大ニナリマシタト云フヤウナ理由ニ依リマシテ、六年前ニ殖エマシタノデアリマスガ、之ヲ今日又考ヘテ見マスト、一層豫算ハ龙大ニナリマシタ、年々金額モ増シマス、尙ホ其外議スベキ所ノ條項、項目等モ餘ホド前ヨリハ増加シテ居リマス、現ニ一分科ノ如キハ歲入、大藏省、竝ニ特別會計、殖民地等ノナカヽ多分ナル所ノ件々ヲ持ツテ居ル位デアリマシテ、ナカヽ之ヲ審議スルニハ手ノ掛カル譯デアリマス、勿論今日マデノ豫算委員ノ數ヲ以チマシテモ慎重ノ審議ハ出來マスノデアリマスガ、尙ホ慎重ノ上ニ慎重ヲ加ヘマシテ十分ニ審議イタシタイ、殘リナク條項、項目ニ付イテ議シタイト云フ考ヲ以チマシテ提案シタ次第デゴザイマス、衆議院ニ於キマシテハ豫算委員ハ現今六十三名ニナツテ居リマスルシ、旁、本院ニ於キマシテモ六十三名ニ致シタイト云フ案デゴザイマス、極メテ簡単明瞭ノコトデゴザイマスカラ、ドウゾ直チニ可決アラムコトヲ提出者ノ一人トシテ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、此動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

男爵田健治郎 石渡敏一 谷森眞男

谷森眞男

ニ交通ノ利便ヲ開發スルノミナラス地方産業ノ發達ニ資スルコト大ナルヲ
以テ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキ
モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正二年月日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

意見書案
大津宮創設ノ件

滋賀縣大津市松本村士族公吏小川靜次郎外三十名呈出
右ノ請願ハ天智天皇ハ中興ノ英主ニシテ天皇ノ偉業ハ國民ノ均シク景仰措
ク能ハサル所ナリ然ルニ其ノ遺蹟ヲ表彰シ崇敬ヲ致スノ道ナキハ甚悲シム
ヘキコトナルヲ以テ由緒アル大津市内長等山ノ靈域ニ天皇ヲ奉祀スヘキ一
神社ヲ造營セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモ
ノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正二年月日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

意見書案
水難救護法中改正ノ件

静岡縣志太郡島田町材木商天野廉外八名呈出
秋田縣山本郡能代港町材木商井坂直幹外九十六名呈出

右ノ請願ハ水難救護法ハ海上風波又ハ河川洪水ノ爲ニ漂流セシ材木ノ保管
其ノ他ニ付テハ到着シタル地ノ町村役場ニ於テ取扱フヘキノ規定ナルカ故
ニ實際ノ不便多クシテ木材所有者ハ往々非常ノ損害ヲ蒙ルコトアルヲ以テ
該法第二十四條以下各條中「市町村長」トアルヲ「警察署」ト改正セラレ
タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ
議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正二年月日

貴族院議長公爵徳川家達

意見書案
國立醸造試驗所増設ノ件

神奈川縣愛甲郡玉川村神奈川縣酒造組合長黃金井爲造外四名呈出（五
通）
秋田縣雄勝郡湯澤町雄平酒造組合長伊藤仁右衛門外二名呈出（三通）

右ノ請願ハ酒造業ノ盛衰ハ國家ノ經濟及國民ノ利害ニ關スルコト深ク之カ
進歩改善ヲ計ルニハ理化學或ハ細菌學ノ應用ニ基キ適當ノ方法ヲ講セサル
ヘカラス然ルニ以テ尙一箇所ヲ關西ニ增設セラレタシ然レトモ如上ノ施設ハ現下
ノ財政之ヲ許サストセハ各稅務監督局及稅務署ニ堪能ナル醸造技術官ヲ增
員シ以テ其ノ急ニ應セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ
採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正二年月日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

意見書案
輸出酒類戻税擔保物件ニ關スル件

青森縣弘前市大字東長町青森縣酒造組合聯合會長菊地定次郎外三名呈
出（四通）
長野縣長野市西之門町北信酒造組合長藤井伊右衛門外二名呈出（三通）

右ノ請願ハ輸出清酒戻税ニ關スル現行法ノ規定ニ依レハ造石稅未納ノ清酒
ニ對シ提供スヘキ擔保ヲ金錢及有價證券ニ限定セラルハ當業者ヲシテ資
金運用ヲ困難ナラシムルカ故ニ擔保物ノ制限ヲ擴張シテ土地建物等ノ不動
產ヲモ加ヘラルカ又ハ全然擔保ヲ免セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ
願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊
及送付候也

大正二年月日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

内閣總大臣伯爵山本權兵衛殿

意見書案

上越鐵道速成ノ件

新潟縣北魚沼郡廣瀬村平民農酒井文吉外四百十六名呈出

右ノ請願ハ群馬縣前橋市ヲ起點トシテ新潟縣長岡市ニ至ル上越鐵道ハ啻ニ地方人民ノ利便ヲ進メ產業ヲ發達セシムルノミナラス經濟上並國防上至大ノ關係アルヲ以テ速ニ鐵道敷設法ニ改正ヲ加ヘ及歲計豫算案ヲ具シ政府ヲシテ之カ實施ノ道ニ出テラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正二年月日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

○議長（公爵德川家達君）是等ノ請願ハ請願委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵德川家達君）御異議ナイト認メマス

○議長（公爵德川家達君）議事日程第十七ヨリ第二十五マヂノ請願、會議

意見書案

上越線鐵道敷設ノ件

新潟縣南魚沼郡鹽澤町平民農井口隆外三百五十八名呈出

右ノ請願ハ群馬縣高崎驛ヨリ濱川沼田ヲ經テ新潟縣長岡驛ニ至リ信越線ニ聯接セシムル鐵道ハ東京ト北越地方トノ間ニ捷路ヲ作リ啻ニ交通ノ利便ヲ開發シ產業ヲ發達セシムルノミナラス國防上必要ナルヲ以テ同線ヲ鐵道敷設法第二條ノ豫定線中ニ追加シ時機ヲ俟チテ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正二年月日

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

金澤米穀商同業組合組長齋藤彌久呈出

右ノ請願ハ現行ノ營業稅法ハ薄利ナル米穀販賣業者ニ對シ他ノ利益多キ營業者ニ對スルト同一ノ稅率ニ依リテ課稅セラル斯ノ如キハ單ニ當業者ヲ困シマシムルノミナラス米價ノ調節ヲ阻害シ一般社會ニ惡影響ヲ及ホスコト大ナルヲ以テ之カ負擔ヲ輕減セラルヤウ特殊ノ稅率ヲ設ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正二年月日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

意見書案

酒造原料水保護ニ關スル件

兵庫縣武庫郡西宮町平民安田勝之介外二十名呈出

右ノ請願ハ灘地方ニ於ケル清酒ノ醇良ナルハ原料タル水質ノ清冽純美ナルニ由ル而シテ之カ湧出地ハ兵庫縣武庫郡西宮町ノ中央南部一帶ノ區域ニ限ラル然ルニ之カ需要逐年增加シ爲ニ水脈ニ變化ヲ來シ潮水滲入シ良質ノ原料水ヲ得ルコト漸ク難キニ至レリ斯ノ如キハ酒造業ヲ衰退セシメ又延イテ國家ノ財源ニ影響ヲ及ホスモノナルヲ以テ速ニ當局者ヲシテ其ノ原因ヲ調査セシメ適當ナル保護方法ヲ講セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正二年月日

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

貴族院議長公爵德川家達

庄内川改修ニ關スル件

愛知縣西春日井郡川中村長犬飼彌右衛門外二十名呈出

右ノ請願ハ愛知縣庄内川ハ河底隆起シ頻年濁流氾濫シテ其ノ害渺カラス是ヲ以テ同川ヲ改修シ水害ヲ除却セムト欲スト雖巨額ノ經費ヲ要シ地方民力

ノ堪フル所ニアラサルヲ以テ國費ヲ以テ速ニ之カ工事ヲ施行セラレタシ

モ未其ノ實行ニ至ラス沿岸町村民ノ遺憾甚シキヲ以テ速ニ施工セラレタシ

トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院

法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正二年月日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

満鮮輸出花蓮ノ検査所ニ關スル件
福岡縣三瀬郡木佐木村福岡縣花蓮同業組合組長稻益一義呈出
右ノ請願ハ輸出花蓮ハ總テ在神戸花蓮検査所ニ於テ検査ヲ受クヘキモノナルヲ以テ請願人等ノ如ク滿洲朝鮮ニ近ク且該方面ニ花蓮ヲ輸出スルヲ業トスル者ハ不便不利ヲ被ルコト一方ナラサルヲ以テ該方面へ輸出スル花蓮ニ限リ門司稅關ニ於テ検査ヲ施行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正二年月日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

本坂峠開鑿ノ件
静岡縣引佐郡西濱名村長縣勇外十名呈出

右ノ請願ハ靜岡縣濱松市ヨリ愛知縣豊橋市ニ達スル姫街道ハ東海道ノ副線ニシテ重要ノ道路ナルモ其ノ中間ニ本坂峠ト稱スル險坂アリテ車輛通セス交通ニ不便ヲ感スルノミナラス軍事上ニモ障礙アルヲ以テ國庫ヨリ適當ノ補助ヲ與ヘ以テ之カ開鑿ヲ遂行セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正二年月日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

貴族院議長公爵德川家達

右ノ請願ハ四國幹線鐵道中川田池田間ノ工事ハ進捗セラルモ更ニ之ヲ徳島縣三好郡山城谷村川口迄延長セラルハ產業ノ發達及國利ノ増進上少カラサル便益ヲ與フルモノナルヲ以テ之ヲ延長セラレタシトノ旨趣ニシテ貴

池田川口間鐵道速成ノ件

大正二年月日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

右ノ請願ハ四國幹線鐵道中川田池田間ノ工事ハ進捗セラルモ更ニ之ヲ徳

島縣三好郡山城谷村平農民協外九十名呈出
ラサル便益ヲ與フルモノナルヲ以テ之ヲ延長セラレタシトノ旨趣ニシテ貴

族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正二年月日

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

營業稅法案ニ對スル修正ノ件

東京薪炭問屋同業組合組長牧田富次郎外千二百九名呈出

右ノ請願ハ今期議會ニ提出セラレタル營業稅法中改正法律案ハ薄利ナル薪炭販賣業者ニ對シ重稅ヲ課セムトスノ如キハ負擔ノ公平ヲ失スルモノナルヲ以テ薪炭販賣業ハ卸賣小賣共ニ賣上金額ニ對シ甲ノ稅率ヲ以テ課稅セラルルヤウ該案ヲ修正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正二年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 是等ノ請願モ、請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ニ於テ散會ヲ宣告イタシマス

午後七時五十三分散會